

平成30-令和元年度(平成31年度)

下関市立歴史博物館年報

令和3年3月31日

ごあいさつ

下関市立歴史博物館は平成28年11月18日、長門尊攘堂を前身とする旧下関市立長府博物館の活動を継承するとともに、市民の皆様の地域学習や本市の交流人口の拡大に貢献することを目指して開館いたしました。開館後4年余りが経過しましたが、この間、市の内外から数多くの皆様にご来館いただき、平成30年6月2日には入館者10万人を達成いたしております。

「海峡に育まれた下関の歴史と文化ー海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとする展示につきましては、常設展示のほか多彩な企画展示や特別展示を開催するとともに、本市に所縁ある歴史資料の収集保管、調査研究、教育普及活動の充実に努めてまいりました。さらに、近年は出前講座の実施や博物館実習生の受け入れなどの博学連携の取組みに加え、企画展・特別展に関連したミニ講座や各種イベントの実施など、さまざまな活動を展開しております。

しかしながら、現在は新型コロナウイルス感染症拡大による混乱のなかにあり、当館は令和2年3月～5月下旬まで、約3か月の臨時休館を余儀なくされました。また、展示スケジュールを見直すことになったほか、中止せざるを得なかったイベントもございます。

依然として事態の収束は見通せませんが、本書の刊行をきっかけにこれまでの歩みを見直し、あらためて博物館の果たすべき役割を模索してまいりたいと思っております。

最後になりますが、引き続き当館の活動についてご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月31日

下関市立歴史博物館

館長 古城 春樹



下関市立歴史博物館外観

目 次

ごあいさつ	01	Ⅲ. 令和元年度（平成31年度）事業概	29
目次	02	【管理運営】	
Ⅰ. 施設概要	03	1. 利用状況	29
1. 博物館の特色	03	（1）入館者数	29
2. 建物・施設の概要	03	（2）企画展示室利用実績	29
3. ガイダンス交流室展示	03	（3）図録等販売状況	29
4. 公式アプリ	04	（4）年間行事	30
5. 沿革	04	【事業報告】	
6. 組織・職員	05	1. 展示活動	31
7. 博物館協議会委員	06	（1）常設展示	31
Ⅱ. 平成30年度事業概要	07	①基本展示	31
【管理運営】		②テーマ展示	31
1. 利用状況	07	（2）企画展示	32
（1）入館者数	07	（3）特別展示	41
（2）企画展示室利用実績	07	2. 調査研究・普及活動	48
（3）図録等販売状況	07	3. 収集・保存	49
（4）年間行事	07	（1）資料収集（寄贈・寄託・購入）	49
【事業報告】		（2）収集審査会	50
1. 展示活動	09	（3）くん蒸業務	50
（1）常設展示	09	（4）資料の利用	50
①基本展示	09	①特別観覧	50
②テーマ展示	09	②資料貸付	50
（2）企画展示	10	4. その他	50
（3）特別展示	19	Ⅳ. 日清講和記念館	52
2. 調査研究・普及活動	25	Ⅴ. 条例・施行細則	53
3. 収集・保存	25	利用案内	
（1）資料収集（寄贈・寄託・購入）	25		
（2）収集審査会	26		
（3）くん蒸業務	26		
（4）資料の利用	27		
①特別観覧	27		
②資料貸付	27		
4. その他	27		

I.施設概要

1. 博物館の特色

歴史豊かな下関の地域学習および交流人口の拡大のため、次のことを博物館活動の基本理念としている。

- 1 下関の歴史遺産をネットワーク化する博物館
- 2 市民とともに創り育てる博物館
- 3 多彩な交流を促進する博物館
- 4 歴史と文化を楽しむ博物館
- 5 市域の文化財を保存公開する博物館

2. 建物・施設の概要

〈新館〉

敷地面積 5,483.55㎡

構 造 平屋建て

鉄筋コンクリート造

建築面積 1,864.92㎡

延床面積 1,499.88㎡

〈旧長府博物館〉

敷地面積 4,761.41㎡

構 造 本館、別館、収蔵庫：平屋建て

鉄筋コンクリート造

勝流分庫：平屋建て、木造

延床面積 本館 315.23㎡、別館 165.30㎡、

収蔵庫 70.00㎡、勝流分庫 54.88㎡

〈新館〉

名 称	面積(単位:㎡)
A 展示部門	483.34
常設展示室	252.00
企画展示室	171.78
展示前室	27.30
展示準備室	32.26
B 収蔵部門	381.53
収蔵庫	192.85
特別収蔵庫	53.43
収蔵庫前室	37.51
荷解室	45.87
搬入室	51.87

名 称	面積(単位:㎡)
C 機械部門	160.87
機械室	115.65
消火ボンベ室	13.18
自家発電機室	28.13
消火ポンプ室	3.91
D 管理部門	143.35
受付	9.87
館長室	7.85
事務室	42.91
会議室	20.32
学芸員室	45.45
警備室	9.09
更衣室	7.86

名 称	面積(単位:㎡)
E 共用部門	330.79
ガイダンス交流室	68.09
その他	262.70

3. ガイダンス交流室展示

下関の歴史と文化の概要、並びに市域の文化財、文化施設、観光に関する情報を提供する無料の展示コーナーとして設置。

海峡の文化財を紹介したパノラマ映像や長府のまち歩き映像、情報検索サービス、地域史関係図書などを利用することができ、地域学習やまち歩きの一助となるようにしている。



ガイダンス交流室

4. 公式アプリ

平成29年度から、下関市立歴史博物館公式アプリ“ワクワク れきはく”の運用を開始した。本アプリでは、博物館の最新情報を確認することができるほか、AR機能を利用することによって、展示物の解説などをスマートフォンやタブレット端末で閲覧することも可能である。また、本アプリを利用したスタンプラリーを実施し、記念品のプレゼントを行っている。

また、近年増加するインバウンド（訪日外国人旅行者）へ対応するため、日本語のほか4か国語（英語、簡体中国語、繁体中国語、ハングル）での表示も可能となっている。



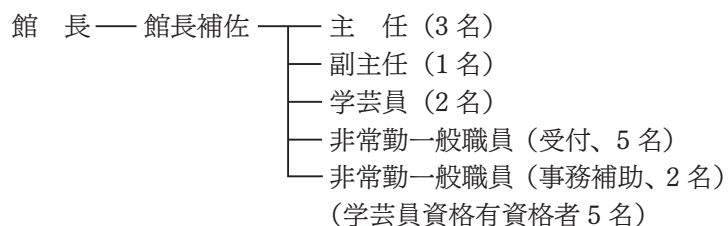
公式アプリトップページ

5. 沿革

昭和 8 年10 月	桂弥一が長門尊攘堂を建設し、財団法人尊攘堂が運営
昭和 21 年 6 月	財団法人先賢記念長府博物館に改称
昭和 25 年 3 月	財団法人長府博物館に改称
昭和 55 年 4 月	施設と資料を下関市に移管し下関市立長府博物館発足
平成 5 年 度	下関市立長府博物館の老朽化、狭隘化などを起因として、庁内に若手職員による「博物館を考える会」を設置し、下関にふさわしい博物館像を検討
平成 6 年 9 月	下関市博物館（仮称）建設準備委員会を発足
平成 8 年12 月	建設準備委員会が基本構想を市長に答申
平成 5 年 度	新博物館建設事業 PFI 手法導入可能性調査を実施
平成 17 年 9 月	建設予定地を長府黒門東町とした PFI 手法による新博物館建設を断念
平成 21 年 3 月	新博物館建設予定地を長府川端二丁目とし、下関市新博物館（仮称）建設基本計画を策定（長府博物館は新博物館に包摂する計画）
平成 22 年 3 月	建設用地を取得
12 月	建設設計及び展示設計に着手
平成 23 年12 月	展示設計終了
平成 24 年 3 月	建設設計完了
平成 25 年 2 月	建築審査会を経て建築許可
3 月	平成 25 年度当初予算において、博物館建設費 1,333,000 千円（継続費、3 ケ年）を計上
平成 26 年 3 月	度重なる入札不調に伴い、博物館建設費を 1,550,000 千円に増額
6 月	建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手
10 月	展示製作に着手
平成 27 年12 月	外構工事の入札不調に伴い、継続費を 4 ケ年に延伸
12 月	建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事が完了し建物竣工
平成 28 年 3 月	外構工事、植栽工事、外構電気設備工事に着手
3 月	「下関市立博物館の設置等に関する条例」を「下関市立歴史博物館の設置等に関する条例」として全部改正し、4 月 1 日から施行
4 月	下関市立長府博物館を下関市立歴史博物館に改組
4 月	展示製作竣工
8 月	各外構工事竣工
10 月	旧長府博物館から博物館資料等を搬入し開館準備
11 月	開館
平成 30 年 6 月	入館者10万人を達成
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染症の拡大により休館（4月1日より3日まで一時開館したのち、5月26日まで再度休館）

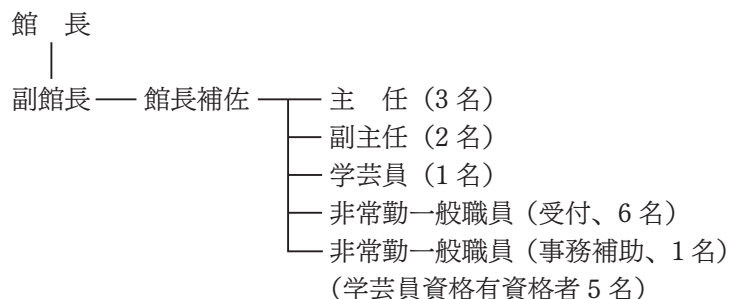
6. 組織・職員

【平成 30 年度】



館長（非常勤特別職員）	町田 一仁
館長補佐	崎野美也子
主任	荒田 知美
主任（学芸員）	田中 洋一
主任	篠原 佳子
副主任（学芸員）	岡松 仁
学芸員	稲益あゆみ
学芸員	松田 和也
非常勤一般職員（受付）	伊秩 秀紀
	山崎 郁子
	山本佐智子
	登根 郁江
	松田 直美
非常勤一般職員（事務補助）	久保 伸子
非常勤一般職員 （事務補助・産休代替）	登根奈緒美

【令和元年度（平成 31 年度）】



館長（非常勤特別職員）	吉川 宗利
副館長（下関市立美術館館長）	中村 美幸
館長補佐	崎野美也子
主任	荒田 知美
主任（学芸員）	田中 洋一
主任	篠原 佳子
副主任（学芸員）	岡松 仁
副主任（学芸員）	稲益あゆみ
学芸員	松田 和也
非常勤一般職員（受付）	松田 直美
	久保 伸子 （～10月31日）
	飴谷 結布 （11月1日～）
	高原 祐二
	櫻井 晴義
	河井 明美
	中尾 太樹
非常勤一般職員（事務補助）	登根奈緒美

7. 博物館協議会委員

下関市立歴史博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。博物館法および下関市立歴史博物館の設置等に関する条例に基づき設置している。

【平成30年度】

博物館協議会開催

日 時 平成31年2月25日(月)
14時00分～

出席者 田中 康夫、富永 洋一、
岡 昌子、上野 幸子、
木部 和昭、磯永 和貴、
松村 通世、山田 稔

児玉 典彦(教育長)
町田 一仁、崎野美也子、
荒田 知美、田中 洋一、
岡松 仁、稲益あゆみ、
松田 和也

区分	氏名	公 職 等	備考
学校教育関係者	田中康夫	下関市教育研究会小学校社会科部長(角倉小学校長)	新任
	岡崎茂邦	下関市教育研究会中学校社会科部長(山の田中学校長)	
社会教育関係者	富永洋一	下関市社会教育委員	会長
	岡 昌子	菊舎顕彰会会長	
家庭教育に資する者	上野幸子	長府婦人会会長	
	松村通世	下関市更生保護女性会 顧問(前会長)	
学識経験者	木部和昭	山口大学経済学部教授	
	磯永和貴	東亜大学人間社会学科准教授	副会長
	関谷慶子	学校法人下関学院 学院長	
	山田 稔	山口県立山口博物館学芸課長	新任

【令和元年度(平成31年度)】

博物館協議会開催

日 時 令和2年2月10日(月)
14時00分～

出席者 田中 康夫、岡崎 茂邦、
富永 洋一、岡 昌子、
上野 幸子、松村 通世、
木部 和昭、磯永 和貴、
関谷 恵子、山田 稔

児玉 典彦(教育長)
吉川 宗利、中村 美幸、
崎野美也子、荒田 知美、
田中 洋一、岡松 仁、
稲益あゆみ、松田 和也

区分	氏名	公 職 等	備考
学校教育関係者	田中康夫	下関市教育研究会小学校社会科部長(角倉小学校長)	
	岡崎茂邦	下関市教育研究会中学校社会科部長(山の田中学校長)	
社会教育関係者	富永洋一	下関市社会教育委員	会長
	岡 昌子	菊舎顕彰会前会長	
家庭教育に資する者	上野幸子	長府婦人会会長	
	松村通世	下関市更生保護女性会 顧問(前会長)	
学識経験者	木部和昭	山口大学経済学部教授	
	磯永和貴	東亜大学人間社会学科准教授	副会長
	関谷慶子	学校法人下関学院 学院長	
	山田 稔	山口県立山口博物館学芸専門監	

Ⅱ．平成 30 年度事業概要

【管理運営】

1. 利用状況

(1) 観覧者数

●月別観覧者数

月	観覧者数（人）	月	観覧者数（人）
4 月	3,753	10 月	3,783
5 月	4,981	11 月	6,217
6 月	3,837	12 月	2,446
7 月	2,656	1 月	1,868
8 月	5,201	2 月	2,584
9 月	3,167	3 月	2,942
計	43,435		

年間開館日数 307 日

開館時間延長 11 月 24 日（土）、11 月 25 日（日）

「彩の城下町長府・秋 2018」に伴い午後 9 時まで開館

(2) 企画展示及び特別展示実施状況

展 示 名	利 用 期 間	観覧者数
明治維新 150 年記念企画展 幕末のメディアと下関	3月17日（土） ～5月20日（日）	3,346 人※ 1
明治維新 150 年記念企画展 下関のラストサムライー近代を生き た藩主と藩士たち	5月26日（土） ～7月1日（日）	2,585 人
明治維新 150 年記念特別展 海峡の幕末維新	7月7日（土） ～9月2日（日）	3,662 人
企画展 長府藩の能と茶の湯	9月8日（土） ～10月14日（日）	2,200 人
特別展 大内氏の興亡と毛利氏の隆盛 ―海峡の戦国史 第 1 章	10月20日（土） ～12月9日（日）	3,638 人
企画展 海峡往来―すべての「道」は海峡に通ず	12月15日（土） ～2月17日（日）	2,142 人
企画展 長門国府から長府へー城下町成立前史	2月23日（日） ～4月7日（日）	1,656 人※ 2

※ 1 観覧者数は 4 月 1 日～5 月 20 日を計上。

※ 2 観覧者数は 2 月 23 日～3 月 31 日を計上。

(3) 図録刊行状況

名 称	発 行 年 月	頒 価
『明治維新 150 年記念特別展 海峡の幕末維新』	平成 30 年 7 月	1,000 円
『特別展 大内氏の興亡と毛利氏の隆盛―海峡の戦国史 第 1 章』	平成 30 年 10 月	1,000 円

(4) 年間行事

No	日 程	内 容
1	平成 30 年 4 月 28 日	企画展関連ミニ講座 「瓦版を読む―報じられた幕末の事件―」
2	平成 30 年 5 月 19 日	企画展関連ミニ講座 「幕末の情報網―暴かれた長州藩の内情―」

3	平成 30 年 5 月 27 日	企画展関連ミニ講座 「近代を生きた藩主—毛利元敏・毛利元純」
4	平成 30 年 6 月 2 日	入館者 10 万人セレモニー
5	平成 30 年 6 月 30 日	企画展関連ミニ講座 「近代を生きた藩士—サムライたちのゆくえ」
6	平成 30 年 7 月 7 日	特別展「海峡の幕末維新」開会式
7	平成 30 年 7 月 8 日	特別展関連ミニ講座「海峡の対外危機意識」
8	平成 30 年 7 月 21 日～8 月 31 日	れきはくクイズラリー
9	平成 30 年 7 月 29 日	特別展子ども向け講座「それぞれが見た景色」
10	平成 30 年 8 月 26 日	特別展関連ミニ講座「戊辰戦争と報国隊」
11	平成 30 年 8 月 26 日	韓国国立海洋博物館交流事業
12	平成 30 年 9 月 22 日	企画展関連ミニ講座「長府藩と能」
13	平成 30 年 9 月 29 ～ 30 日	歴史博物館 秋の野点
14	平成 30 年 10 月 13 日	企画展関連ミニ講座「秀元と茶の湯」
15	平成 30 年 10 月 20 日	特別展「大内氏の興亡と毛利氏の隆盛 —海峡の戦国史 第 1 章」開会式
16	平成 30 年 10 月 27 日	特別展関連ミニ講座「大内氏と下関」
17	平成 30 年 11 月 24 日	特別展関連ミニ講座「毛利氏と下関」
18	平成 30 年 11 月 24 ～ 25 日	夜間開館
19	平成 30 年 12 月 15 日	企画展関連ミニ講座「諸国廻船と下関について」
20	平成 31 年 2 月 3 日	企画展関連ミニ講座「参勤交代と下関について」
21	平成 31 年 2 月 10 日	下関市立歴史博物館協議会
22	平成 31 年 2 月 23 日	企画展関連ミニ講座「政治都市としての長府」
23	平成 31 年 3 月 1 日	歴史博物館資料収集審査会
24	平成 31 年 3 月 2 日	歴史博物館敷地を「志士の杜」と命名
25	平成 31 年 3 月 16 日	歴史講座&展示解説「維新 150 年を振り返る」
26	平成 31 年 3 月 17 ～ 18 日	下関市立歴史博物館くん蒸
27	平成 31 年 3 月 17 ～ 21 日	旧長府博物館館内くん蒸
28	平成 31 年 3 月 23 日	企画展関連ミニ講座「古代～中世の長府と寺社」



入館者 10 万人セレモニー



特別展「海峡の幕末維新」開会式後の展示解説



「志士の杜」プレート



企画展「長門国府から長府へ」 関連ミニ講座

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

①基本展示

下関の歴史について、館蔵品や模型を用いて通史的な展示を行い、2か月に一度程度展示替えを実施した。

②テーマ展示

・下関戦争（通期）

幕末の下関において起こった下関戦争について、当時彦島の弟子待台場に備え付けられていた荻野流一貫目青銅砲と映像ブースを中心にした展示を行った。

・武家の装い（平成30年3月17日～5月20日）

端午の節句にあわせて長府毛利家及び清末毛利家ゆかりの武具や装束などを展示し、武家の装いについて紹介した。

・近世下関の日韓交流―誠心交隣（平成30年7月1日～9月1日）

中世から近世にかけて、日本と朝鮮の交流の交流に大きな役割を果たした朝鮮通信使の関係資料を展示・紹介した。

・星里焼（平成30年9月4日～12月9日）

幕末に清末藩8代藩主毛利元純の命を受けた藤崎宗助によって開かれ、3代目藤崎星里が割れにくい結晶釉を開発したことで全国にその名を知られた星里焼を展示・紹介した。



串崎城模型

木 砲
(テーマ展示「下関戦争」より)

(2) 企画展示

①明治維新 150 年記念企画展

幕末のメディアと下関

- 【会 期】 平成 30 年 3 月 17 日(土)
～平成 30 年 5 月 20 日(日)
- 【開館日数】 44 日
- 【入館者数】 3,346 人
※いずれも平成 30 年度分のみ。
- 【担当学芸員】 稲益あゆみ
- 【出品点数】 70 件
- 【展示概要】 幕末の下関にもたらされた情報や、
下関で起きた事件について紹介。

【展示資料目録】

※『平成 28-29 年度 下関市立歴史博物館年報』に掲載済みのため省略。

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「瓦版を読む—報じられた幕末の事件—」

- 日 時 平成 30 年 4 月 28 日(土)
- 講 師 稲益あゆみ
- 聴 講 者 数 33 人
- 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「幕末の情報網—暴かれた長州藩の内情—」

- 日 時 平成 30 年 5 月 19 日(土)
- 講 師 田中洋一
- 聴 講 者 数 35 人
- 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

②明治維新 150 年記念企画展

下関のラストサムライ—近代を生きた藩主と藩士たち

- 【会 期】 平成 30 年 5 月 26 日(土)
～平成 30 年 7 月 1 日(日)
- 【開館日数】 32 日
- 【入館者数】 2,585 人
- 【担当学芸員】 松田和也
- 【出品点数】 88 件
- 【展示概要】 長府藩・清末藩のサムライたちの
維新後を紹介。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	毛利元敏画像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
2	豊浦藩印章	下関市立歴史博物館蔵
3	古谷道庵日乗 第 100	下関市立歴史博物館蔵
4	毛利元敏写真(明治 6 年 1 月 16 日 ロンドン撮影)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
5	毛利元敏所用洋書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
6	毛利元敏歌書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	毛利元敏ほか旧長府藩士集合写真	下関市立歴史博物館蔵

8	外国食品費受払簿	下関市立歴史博物館蔵
9	自製洋食品目	下関市立歴史博物館蔵
10	毛利元敏 気象観測資料	下関市立歴史博物館蔵
11	毛利元敏書簡 三吉慎蔵宛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
12	賞勲局達書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
13	長府毛利邸図面	下関市立歴史博物館蔵
14	長府毛利家邸写真	下関市立歴史博物館蔵
15	毛利元純画像	下関市立歴史博物館蔵
16	毛利元純書	下関市立歴史博物館蔵
17	七卿落之図	下関市立歴史博物館蔵
18	毛利家乗 50	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
19	亀山公園銅像写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	毛利元純銅像写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	福原和勝画像	豊浦小学校教育資料館蔵
22	長府藩士血盟書	下関市立歴史博物館蔵
23	福原和勝詩書扇面	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	福原和勝詩書	下関市立歴史博物館蔵
25	福原和勝詩書	下関市立歴史博物館蔵
26	李鴻章詩書	下関市立歴史博物館蔵
27	福原和勝書簡 乃木希典宛	下関市立歴史博物館蔵
28	鹿児島戦場名記	下関市立歴史博物館蔵
29	西南役田原坂出土両軍の弾丸	下関市立歴史博物館蔵
30	福原和勝錦絵	下関市立歴史博物館蔵
31	福原和勝追悼寄書	下関市立歴史博物館蔵
32	大久保利通写真	下関市立歴史博物館蔵
33	山県有朋写真	下関市立東行記念館蔵
34	鳥尾小弥太写真	下関市立東行記念館蔵
35	乃木希典・桂弥一ほか 1 名写真	下関市立歴史博物館蔵
36	乃木希典写真（明治 4.11、23 才）	下関市立歴史博物館蔵
37	乃木静子筆 紫陽花図	下関市立歴史博物館蔵
38	乃木希典書簡 桂弥一宛	下関市立歴史博物館蔵
39	乃木希典農夫木像	下関市立歴史博物館蔵
40	乃木希典農夫銅像	下関市立歴史博物館蔵
41	乃木希典写真	下関市立歴史博物館蔵
42	乃木希典詩書	下関市立歴史博物館蔵
43	乃木希典詩書	下関市立歴史博物館蔵
44	乃木希典豊浦小学校来校写真	豊浦小学校教育資料館蔵
45	乃木希典・東郷平八郎書	櫻山神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
46	乃木希典欧州遊歴写真	下関市立歴史博物館蔵
47	乃木希典・静子写真	下関市立歴史博物館蔵
48	乃木希典書簡 桂弥一宛	下関市立歴史博物館蔵
49	乃木希典辞世歌書下書	下関市立歴史博物館蔵
50	乃木希典辞世歌書	下関市立歴史博物館蔵

51	沢瀉紋付小袖	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛(複製)	(原資料) 功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	宮内省北白川宮御達書類	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
54	毛利元敏書簡 三吉慎蔵宛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	三吉家家訓	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	四斤施條砲弾略図	下関市立歴史博物館蔵
57	ウィーン万国博覧会賞状	下関市立歴史博物館蔵
58	内国勸業博覧会賞状	下関市立歴史博物館蔵
59	第二回内国勸業博覧会賞状	下関市立歴史博物館蔵
60	第三回内国勸業博覧会褒賞証	下関市立歴史博物館蔵
61	藤島常興画入袱紗	下関市立歴史博物館蔵
62	藤島常興作 木製菓子器	下関市立歴史博物館蔵
63	藤島常興作 木製盆	下関市立歴史博物館蔵
64	藤島常興作 刀装小道具	下関市立歴史博物館蔵
65	藤島常興作 筭	下関市立歴史博物館蔵
66	藤島常興作 かんざし	下関市立歴史博物館蔵
67	長府毛利家長櫃鍵	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
68	藤島常興作 模造古金貨茶托	豊浦小学校教育資料館蔵
69	藤島常興作業所看板	下関市立歴史博物館蔵
70	マッチ箱	豊浦小学校教育資料館蔵
71	マッチ箱	下関市立歴史博物館蔵
72	マッチ箱ラベル帳	下関市立歴史博物館蔵
73	最新兵庫県地図	下関市立歴史博物館蔵
74	瀧川辨三彰功碑拓本	下関市立歴史博物館蔵
75	豊永組第2期4回半季実際報告	下関市立歴史博物館蔵
76	門司港全図	下関市立歴史博物館蔵
77	赤間関米取引所諸記録	下関市立歴史博物館蔵
78	奉納矢	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
79	奉献鏡	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
80	太政大臣布告第108号	下関市立歴史博物館蔵
81	太政大臣布告第109号	下関市立歴史博物館蔵
82	金禄公債帯封	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
83	授産会議	下関市立歴史博物館蔵
84	私立防長教育会規則	下関市立歴史博物館蔵
85	豊浦教育補助会規約	下関市立歴史博物館蔵
86	士族就産金醸集趣旨書	下関市立歴史博物館蔵
87	山口県管内全図	下関市立歴史博物館蔵
88	長府案内図	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「近代を生きた藩主—毛利元敏・毛利元純」

日 時 平成30年5月27日(日)
 講 師 松田和也
 聴講者数 55人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「近代を生きた藩士—サムライたちのゆくえ」

日 時 平成30年6月30日(土)
 講 師 松田和也
 聴講者数 60人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

③長府藩の能と茶の湯

【会 期】 平成30年9月8日(土)
 ～平成30年10月14日(日)

【開館日数】 32日

【入館者数】 2,200人

【担当学芸員】 田中洋一

【出品点数】 94件

【展示概要】 長府藩と「能」、「茶の湯」の関係について、
 初代藩主毛利秀元とのかかわりを中心に紹介。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	忌宮神社境内絵図写	下関市立歴史博物館蔵
2	能面 小癪見	忌宮神社蔵
3	能面 三光尉	忌宮神社蔵
4	能面 曲見	忌宮神社蔵
5	能面 獅子口	忌宮神社蔵
6	能面 天神	忌宮神社蔵
7	長府藩能舞台棧敷割図	忌宮神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
8	忌宮神社神事能規則書	忌宮神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考①	防長有名寺社鳥瞰図(忌宮神社・パネル展示)	(原資料)萩博物館
9	長府藩重臣連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	能管 伝毛利秀元使用	忌宮神社蔵
11	能管 伝毛利元義使用	忌宮神社蔵
12	太鼓	忌宮神社蔵
13	小堤胴	忌宮神社蔵
14	天保十一年二宮大祭御幸絵図	下関市立歴史博物館蔵
15	二宮神事能番組	下関市立歴史博物館蔵
16	能面 白色尉 伝毛利秀元奉納	亀山八幡宮蔵
17	能面 黒色尉 伝毛利秀元奉納	亀山八幡宮蔵
18	能面 白色尉 毛利元義奉納	亀山八幡宮蔵
参考②	五七桐文蒔絵能面篋	亀山八幡宮蔵
参考③	防長有名寺社鳥瞰図(亀山八幡宮・パネル展示)	(原資料)萩博物館
19	亀山八幡宮境内絵図	下関市立歴史博物館蔵

20	亀山能棧敷割図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	秀元記	下関市立歴史博物館蔵
22	亀山神事能番組	下関市立歴史博物館蔵
23	諸勤録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	長府藩重臣連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	翁図 狩野晴皐筆	下関市立美術館蔵
26	翁図 狩野芳崖筆	個人蔵・下関市立美術館寄託
27	翁図下絵	下関市立歴史博物館蔵
28	能師 土田氏像 狩野晴皐筆	個人蔵・下関市立美術館寄託
29	能師 土田路俊像 狩野芳崖筆	個人蔵・下関市立美術館寄託
30	長府藩分限帳	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
31	藩中略譜	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	能管	下関市立歴史博物館蔵
33	古き番組控	下関市立歴史博物館蔵
34	御祝儀能之節凡之図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	赤間関在番内藤十兵衛奉書	下関市立歴史博物館蔵
36	長府藩重臣連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
37	赤間関在番内藤十兵衛奉書	下関市立歴史博物館蔵
参考④	大内政弘書状（パネル展示）	（原資料）個人蔵・東京国立博物館寄託
38	毛利元就画像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考⑤	毛利元就伝 全	下関市立歴史博物館蔵
39	毛利元就所用扇子	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
40	毛利輝元上洛日記写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
41	毛利元清画像（複製）	（原資料）来福寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
42	豊臣秀吉朱印状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
43	扇子掛と掛花生	豊功神社蔵
44	大壺	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考⑥	豊臣秀吉画像（パネル展示）	（原資料）佐賀県立名護屋城博物館蔵
45	唐物茶壺 銘玉蟲	下関市立歴史博物館蔵
46	千利休釜形差図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	千利休書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	千利休書状 筆陳第二帖	下関市立歴史博物館蔵
49	千利休画像 笹山養意筆	下関市立歴史博物館蔵
50	古田織部書状 筆陳第一帖	下関市立歴史博物館蔵
51	毛利家乗附録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	徳川家康画像（パネル展示）	（原資料）堺市博物館蔵
53	徳川家光画像（パネル展示）	（原資料）堺市博物館蔵
54	梟図 徳川家光筆	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	毛利秀元画像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	毛利甲斐守秀元譜略	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	品川御殿図（パネル展示）	（原資料）東海寺蔵・品川区立品川歴史館寄託
58	沢庵宗彭画像（パネル展示）	（原資料）東海寺蔵・品川区立品川歴史館寄託

59	毛利秀元和歌短冊	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	軍産之茶碗 銘から時雨	豊功神社蔵
61	瓢箪釜	豊功神社蔵
62	茶杓 千利休作	豊功神社蔵
63	地紅桂漿之盆	豊功神社蔵
64	茶入 瀬戸焼	豊功神社蔵
65	勝栗香合 山田宗偏作	豊功神社蔵
66	澤瀉紋蒔絵棗	豊功神社蔵
67	桐紋蒔絵棗	豊功神社蔵
68	江家見聞録	下関市立歴史博物館蔵
69	萩焼 伊羅保茶碗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
70	毛利秀元書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
71	井伊直孝書状 毛利秀元宛	下関市立歴史博物館蔵
72	小堀遠州書状 毛利秀元宛	下関市立歴史博物館蔵
73	小堀遠州画像（パネル展示）	（原資料）滋賀県立琵琶湖文化館蔵
74	伊達政宗書状 毛利秀元宛	下関市立歴史博物館蔵
75	伊達政宗肖像画（パネル展示）	（原資料）仙台市博物館蔵
76	毛利秀元坐像	高林寺蔵
77	毛利元義所用茶碗	個人蔵
78	茶杓 毛利元義作	豊田文化財郷土資料室蔵
79	手折菊 風	下関市立歴史博物館蔵
参考⑦	田上菊舎所用棗 中村宗哲作	個人蔵
80	空月庵むだ袋	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
81	松風山焼 鉄釉茶碗	下関市立歴史博物館蔵
82	鷹山焼 青磁双魚文皿	下関市立歴史博物館蔵
	鷹山焼 染付山水文水指	下関市立歴史博物館蔵
	鷹山焼 染付飛鳥図共蓋茶壺	下関市立歴史博物館蔵
	鷹山焼 染付梅鶯図共蓋茶壺	下関市立歴史博物館蔵
83	御中奥御茶所之図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
84	毛利秀元書状 伊藤興矩宛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
85	立花忠茂書状 伊藤貞親宛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
86	山本源五左衛門書状 伊藤貞親宛	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
87	伊藤家伝来茶道具	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

【関連イベント】

・歴史博物館秋の野点

日 時 平成30年9月29日（土）・30日（日）

参加者数 164人

会場 下関市立歴史博物館

共催 只楽会・国際ソロプチミスト東下関

・ミニ講座

(ア)「長府藩と能」

日 時 平成30年9月22日（土）

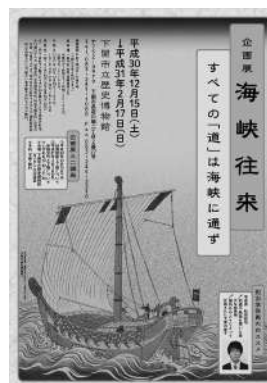
講師 田中洋一

聴講者数 45人

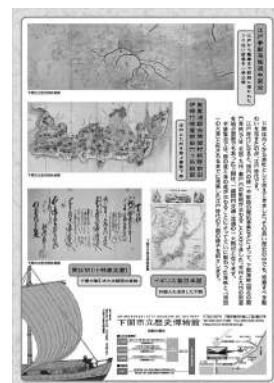
会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室
 (イ)「秀元と茶の湯」
 日 時 平成30年10月13日(土)
 講 師 田中洋一
 聴 講 者 数 47人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

④海峡往来—すべての『道』は海峡に通ず

【会 期】 平成30年12月15日(土)
 ～平成31年2月17日(日)
 【開館日数】 49日
 【入館者数】 2,142人
 【担当学芸員】 松田和也
 【出品点数】 46件
 【展示概要】 陸の道と海の道が交わることによって大いに賑わった海峡と、「西国一の大港」と称されるまでに発展した江戸時代の下関の様子を紹介。



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	伝狩野晴皐筆 赤間関図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
2	伊崎図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
3	竹崎図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	新地図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
5	赤間関伊崎音戸福浦御船場指図控	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
6	赤間関海上図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	赤間関人別帳	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
8	西遊雑記	下関市立歴史博物館蔵
9	長崎紀行	下関市立歴史博物館蔵
10	下関沿岸図	下関市立歴史博物館蔵
11	下関竹崎図	下関市立歴史博物館蔵
12	染付欧風山水文蓋物	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
13	金彩碗皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
14	イギリス製日本図	下関市立歴史博物館蔵
15	イラストレイテッドロンドンニュース 1864年11月12日号	下関市立歴史博物館蔵
16	ルモンドイリュストレ	下関市立歴史博物館蔵
17	ルジャポンイリュストレ	下関市立歴史博物館蔵
18	日本列島鳥瞰図	下関市立歴史博物館蔵
19	江戸参勤海陸道中図会	下関市立歴史博物館蔵
20	長門国図	下関市立歴史博物館蔵
21	東豊浦郡赤間関村棕野前田伊崎竹崎豊前田六ヶ所絵図	下関市立歴史博物館蔵
22	往来手形 丸山家文書	下関市立歴史博物館蔵
23	九州九ヶ国之絵図	下関市立歴史博物館蔵
24	立花宗茂書状 本陣伊藤家文書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

25	細川忠利書状 本陣伊藤家文書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	黒田長政扶持米宛行状 佐甲家文書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	伊秩主馬奉書 御手洗屋伊東家文書	下関市立歴史博物館蔵
28	毛利元運下向日記	下関市立歴史博物館蔵
29	大坂迄海上細見図	下関市立歴史博物館蔵
30	響灘海岸絵図	下関市立歴史博物館蔵
31	泰平諸侯御船監略	下関市立歴史博物館蔵
32	亀田瀬兵衛書状案 亀田家文書	下関市立歴史博物館蔵
33	金子貞吉他3名連署状写 亀田家文書	下関市立歴史博物館蔵
34	寛政西歳測量図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	引島図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	売仕切	下関市立歴史博物館蔵
37	買仕切 小林家文書	下関市立歴史博物館蔵
38	西国内海名所一覧 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
39	六十余州名所図会 長門下の関 歌川広重筆	下関市立歴史博物館蔵
40	西国名所之内廿二 長府の沖 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
41	西国名所之内廿四 与治兵衛岩 岩流島 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
42	嘉永4年新地会所図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
43	大日本海陸名所図会 赤間関 歌川貞秀筆	下関市立歴史博物館蔵
44	下関駅絵葉書	下関市立歴史博物館蔵
45	下関停車場関釜連絡棧橋新設工事写真	下関市立歴史博物館蔵
46	関門鉄道トンネル絵葉書	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「諸国廻船と下関について」

日 時 平成30年12月15日(土)
 講 師 松田和也
 聴講者数 52人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「参勤交代と下関について」

日 時 平成31年2月3日(日)
 講 師 松田和也
 聴講者数 65人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

⑤長門国府から長府へー城下町成立前史

【会 期】 平成31年2月23日(土)
 ～平成31年4月7日(日)
 【開館日数】 32日 【入館者数】 1,656人
 ※いずれも平成30年度分のみ。

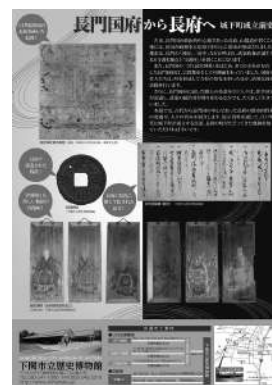
【担当学芸員】 岡松 仁

【出品点数】 60件

【展示概要】 長府の都市的性格の変遷や人々の営みを紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資 料 名	所 蔵
1	長門国府跡出土 軒丸瓦	下関市立歴史博物館蔵
2	長門国分寺跡出土 軒平瓦・軒丸瓦	下関市立歴史博物館蔵
3	長門国分寺跡出土 軒丸瓦	下関市立歴史博物館蔵
4	前田地区出土 軒平瓦・軒丸瓦	下関市立歴史博物館蔵
5	墨書銘木簡	下関市教育委員会蔵
6	紀年銘木簡	下関市教育委員会蔵
7	長門国鑄銭遺物	下関市立歴史博物館蔵
8	銭范	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
9	銭范	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	銅滓	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
11	鞆口	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
12	鞆口	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
13	坩堝	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
14	皇朝十二銭	下関市立歴史博物館蔵
15	長門国守護代記写	下関市立歴史博物館蔵
16	忌宮神社境内絵図(複製)	(原資料) 忌宮神社蔵
17	長門国司庁宣	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	長門国守護施行状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
19	長門国守護寄進状(複製)	(原資料) 下関市立歴史博物館蔵
20	虚庵玄寂(寂空)画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	仏涅槃図	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
22	後醍醐天皇綸旨	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	長門国宣	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	足利直冬書下写	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	光厳上皇院宣	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	足利尊氏御判御教書	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	年預紀某年貢催促状	下関市立歴史博物館蔵
28	年預紀某年貢催促状	下関市立歴史博物館蔵
29	年預紀某年貢催促状	下関市立歴史博物館蔵
30	打刀 銘 長州住顕国	下関市立歴史博物館蔵
31	厚東武直書下	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	大内氏奉行人連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	千代次長祐奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
34	鰐口	下関市立歴史博物館蔵
35	大同和尚画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	竺春禅師画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
37	無溪和尚画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
38	某頂相	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	恵海和尚画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
40	某画像	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託

41	木造二十八部衆立像 神母天像・乾闥婆像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
42	大内氏掟書（パネル展示）	（原資料）下関市立歴史博物館蔵
43	毛利元就画像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
44	毛利隆元安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
45	毛利元就・同輝元連署安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
46	毛利元就書状	個人蔵
47	内藤隆春袖判同氏奉行人奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	毛利元就書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
49	毛利輝元書状案	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	毛利元清画像	来幅寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
51	竺雲恵心書状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	真溪円侃書状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	豊浦藩旧記（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
54	毛利秀元画像	下関市立歴史博物館蔵
55	江家聞見録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	古老覚書（パネル）	（原資料）山口県文書館蔵
57	毛利秀元黒印覚書（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
58	豊府志略	下関市立歴史博物館蔵
参考	長府古城主由来記 全	下関市立歴史博物館蔵
59	長府図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「政治都市としての長府」

日 時 平成 31 年 2 月 23 日（土）
 講 師 岡松 仁
 聴 講 者 数 86 人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「古代～中世の長府と寺社」

日 時 平成 31 年 3 月 23 日（土）
 講 師 岡松 仁
 聴 講 者 数 61 人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(3) 特別展示

①明治維新 150 年記念特別展

海峡の幕末維新

【会 期】 平成 30 年 7 月 7 日（土）
 ～平成 30 年 9 月 2 日（日）
 【開館日数】 50 日
 【入館者数】 3,662 人
 【担当学芸員】 稲益あゆみ
 【出品点数】 80 件
 【展示概要】 幕末から明治にかけて国内各地、そして
 下関で起きた事件・事象に迫るとともに、
 その時代を生きた下関の人々の姿を紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資 料 名	所 蔵
1	ペリー艦隊の砲丸	下関市立歴史博物館蔵
2	黒船来朝図	下関市立歴史博物館蔵
3	日本遠征記 第1巻	下関市立歴史博物館蔵
4	長州藩相州警衛絵図	下関市立歴史博物館蔵
5	毛利敬親台場巡見図 福浦	下関市立歴史博物館蔵
6	阿蘭陀国条約并税則	西南学院大学博物館蔵
7	吉田松陰書状 伊藤静斎宛 安政5年8月15日	下関市立歴史博物館蔵
8	久坂玄瑞肖像(パネル展示)	(原資料) 山口県立山口博物館蔵
9	天杯	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	第三次攘夷戦争図 ド・ハート筆	下関市立歴史博物館蔵
11	長州藩軍艦癸亥丸図	岡山大学附属図書館蔵
12	長州藩軍艦庚申丸図	岡山大学附属図書館蔵
13	馬関戦争図 藤島常興筆(複製)	(原資料) 下関市立歴史博物館蔵
14	七卿落図	下関市立歴史博物館蔵
15	奉勅始末写	下関市立歴史博物館蔵
16	十日之喜久	下関市立歴史博物館蔵
17	乃古里乃喜久	下関市立歴史博物館蔵
18	幕令	下関市立歴史博物館蔵
19	泰平中国御固附	下関市立歴史博物館蔵
20	吉川経幹肖像(パネル展示)	(原資料) 岩国徴古館蔵
21	森安平日記	福岡市博物館蔵
22	高杉晋作肖像	下関市立歴史博物館蔵
23	遊撃軍高札	京都大学附属図書館蔵
24	毛利元純肖像	下関市立歴史博物館蔵
25	毛利元純ほか1名写真	下関市立歴史博物館蔵
26	毛利元周肖像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
27	毛利敬親肖像(パネル展示)	(原資料) 山口県立山口博物館蔵
28	三條実美下賜和歌 泉十郎揮毫肌着	下関市立歴史博物館蔵
29	長防探索并内府下阪書付	高知県立高知城博物館蔵
30	松平忠和書状 服部常純宛 慶応元年12月6日	九州大学附属図書館付設記録資料館蔵
31	御城山ヨリ馬関彦島沖測量図	下関市立歴史博物館蔵
32	坂本龍馬・中岡慎太郎・田中光顕詩歌短冊合装	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	木戸孝允書状 時田少輔宛 慶応元年閏5月3日	下関市立歴史博物館蔵
34	西郷隆盛帷子	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	三吉慎蔵佩刀	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	長州戦争出兵絵馬	吉志部神社蔵・吹田市立博物館寄託
37	出師檄高札	個人蔵・山口県立山口博物館寄託
38	小倉戦争戦闘絵図写	下関市立歴史博物館蔵

39	エンフィールド銃	下関市立歴史博物館蔵
40	ミニエー銃弾	下関市立歴史博物館蔵
41	小森承之助日記 第 18	北九州市立いのちのたび博物館蔵
42	古谷道庵日乗 第 42	下関市立歴史博物館蔵
43	中村平左衛門日記 万延元年	北九州市立いのちのたび博物館蔵
44	長府古城山ヨリ関小戸迄海岸測量絵図控	下関市立歴史博物館蔵
45	古谷道庵日乗 第 66	下関市立歴史博物館蔵
46	長府老女の文写	下関市立歴史博物館蔵
47	奇兵隊日記 写本 29 冊	京都大学附属図書館蔵
48	人体的異人図 森寛斎筆	京都大学附属図書館蔵
49	奇兵隊日記 第 5 冊	京都大学附属図書館蔵
50	桂縫殿書状 三吉内蔵之助・西小豊後宛 元治元年8月6日	下関市立歴史博物館蔵
51	権現浜砲台大砲模型	周南市美術博物館蔵
52	八十斤カノン砲模型	下関市立歴史博物館蔵
53	時田少輔書状 入江角次郎宛 元治元年 8 月 11 日	下関市立歴史博物館蔵
54	農兵旗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	錦小路頼徳遺品のうち紙入れ・楊枝入れ	下関市立歴史博物館蔵
56	櫻山招魂場図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
58	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 慶応 3 年 5 月 7 日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	坂本龍馬・伊藤九三ほか一名写真（パネル展示）	（原資料）個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	大政奉還勅許の沙汰写	津山郷土博物館蔵
61	毛理嶋山官軍大勝利之図	山口県立山口博物館蔵
62	錦旗	豊功神社蔵
63	会津戦争図絵馬	築領八幡宮蔵・岡山県立博物館寄託
64	報国隊旗（タペストリー展示）	（原資料）豊功神社蔵
65	報国隊太鼓	下関市立歴史博物館蔵
66	胴乱	下関市立歴史博物館蔵
67	錦片袖印	下関市立歴史博物館蔵
68	毛利元敏書状 報国隊宛 慶応 4 年 6 月	下関市立歴史博物館蔵
69	越後船岡山招魂場の図	下関市立歴史博物館蔵
70	太政官制札	下関市立歴史博物館蔵
71	太政官制札	萩博物館蔵
72	豊浦藩知事任免辞令	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
74	豊浦藩庁通達 明治 3 年 1 月	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
74	長門赤間関 亀山八幡宮略図	下関市立歴史博物館蔵
75	宮幣中社赤間宮略図	下関市立歴史博物館蔵
76	船絵馬	伊根町亀島区蔵 京都府立丹後郷土資料館寄託
77	家昌フ赤間ノ賑	下関市立歴史博物館蔵

78	久野勝造たばこポスター	下関市立歴史博物館蔵
79	大日本全図 附灯台電信鉄道路線	下関市立歴史博物館蔵
80	赤間関市街旅客案内図	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「海峡の対外危機意識」

日 時 平成30年7月8日(日)
講 師 田中洋一
聴講者数 33人
会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「戊辰戦争と報国隊」

日 時 平成30年8月26日(日)
講 師 稲益あゆみ
聴講者数 27人
会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

・子ども向け講座

「それぞれが見た景色」

日 時 平成30年7月29日(日)
講 師 田中洋一
聴講者数 24人
会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

・れきはくクイズラリー

参加者数 3,083人

②大内氏の興亡と毛利氏の隆盛

【会 期】 平成30年10月20日(土)
～平成30年12月9日(日)

【開館日数】 44日

【入館者数】 3,638人

【担当学芸員】 岡松 仁

【出品点数】 91件

【展示概要】 海峡を舞台に繰り広げられた大名の栄枯盛衰や、統治者の交替という歴史の転換点に立ち会った下関地域の人々のたどった軌跡を紹介。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	長門国守護職次第	住吉神社蔵
2	大内義弘安堵状	個人蔵
3	大内義弘坐像	洞春寺蔵
4	琳聖太子坐像	乗福寺蔵
5	乗福寺跡出土朝鮮系瓦	山口市教育委員会蔵
6	大内盛見坐像	洞春寺蔵
7	大内盛見安堵状	下関市立歴史博物館蔵
8	大内持盛坐像	洞春寺蔵

9	大内持世願文写	下関市立歴史博物館蔵
10	白衣観音図	三恵寺蔵
11	大内氏奉行人連署奉書	正法寺蔵・山陽小野田市立厚狭図書館寄託
12	陶盛長遵行状	正法寺蔵・山陽小野田市立厚狭図書館寄託
13	安岐盛輔打渡状	正法寺蔵・山陽小野田市立厚狭図書館寄託
14	大内教弘書状（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
15	大内政弘袖判下文	個人蔵
16	宗祇馬上図	北九州市立自然史・歴史博物館蔵
17	住吉社法楽百首和歌序文写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	宗祇書状	下関市立歴史博物館蔵
19	大内氏奉行人連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	大内義興安堵状	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
21	大内府君（大内義興）甲冑寿像	山口県立山口博物館蔵
22	楊柳観音坐像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	虚庵玄寂（寂空）行録	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	湖亭春望図 雪舟筆	吉川史料館蔵
25	赤間関絵図写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	桂庵玄樹画像（パネル展示）	（原資料）鹿児島県立図書館蔵
27	海東諸国紀（パネル展示）	（原資料）東京大学資料編纂所蔵
28	大内氏掟書	下関市立歴史博物館蔵
29-1	大内氏勘合貿易印等関係資料 木印 日本国王之印	毛利博物館蔵
29-2	大内氏勘合貿易印等関係資料 朱漆雲龍鎗金印箱	毛利博物館蔵
29-3	大内氏勘合貿易印等関係資料 大内義長証状	毛利博物館蔵
30	大内盛見書契并別幅写	興隆寺蔵・山口県文書館寄託
31	アジア図	大分市歴史資料館蔵
32	聖フランシスコ・ザビエル画像（パネル展示）	（原資料）神戸市立博物館蔵
33	棟札銘文外写	大井八幡宮蔵・萩博物館寄託
34	大内氏奉行人連署奉書	正法寺蔵・山陽小野田市立厚狭図書館寄託
35	大内氏奉行人連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
36	興隆寺一切経勸進帳	山口県文書館蔵
37	門司氏系図	北九州市立自然史・歴史博物館蔵
38	内藤興盛袖判同氏奉行人連署奉書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	大内氏奉行人連署奉書	福岡県立図書館蔵
40	陶弘護画像（パネル展示）	（原資料）龍豊寺蔵・周南市美術博物館寄託
41	紙本墨書吾妻鏡	吉川史料館蔵
42	源氏物語	吉川史料館蔵
43	内藤興盛画像	善生寺蔵
44	大内氏奉行人連署奉書	個人蔵
45	内藤氏奉行人連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

46	長府毛利家系図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
47	安芸国高田郡吉田村之図	東行庵蔵・東行記念館寄託
48	毛利光房安堵状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
49	毛利元就御座備図	下関市立歴史博物館蔵
50	毛利元就画像	下関市立歴史博物館蔵
51	毛利元就所用 白茶地桐竹文様綾頭巾	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	毛利元就所用 亀甲文印籠	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	毛利元就所用 濃萌葱麻地袴	日頼寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
54	毛利元就筆 黄點歌勅撰抄	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
55	照光院門跡道澄筆 毛利元就詠草	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	尼子経久像	山口県立山口博物館蔵
57	毛利元就書状	個人蔵
58	毛利元就・同隆元連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	大内義隆画像(複製)	山口市歴史民俗資料館蔵(原資料) 龍福寺蔵
60	大内義隆書状	山口大学図書館蔵
61	大内義隆書状	山口県立山口博物館蔵
62	大友氏年寄連署書状	下関市立歴史博物館蔵
63	大内氏年寄連署書状	萩博物館蔵
64	陶晴賢書状	萩博物館蔵
65	大内晴英書状	萩博物館蔵
66	イエズス会宣教師書簡集	大分市歴史資料館蔵
67	南蛮寺図(パネル展示)	(原資料) 神戸市立博物館蔵
68	芸州厳島御一戦之図	山口県文書館蔵
69	芸州厳島合戦之図	個人蔵・山口県文書館寄託
70	弘中隆兼書状(パネル展示)	個人蔵
71	大内義長書状(パネル展示)	個人蔵
72	内藤隆世書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
74	堀立家証文写(パネル展示)	(原資料) 山口県文書館蔵
74	茶入上杉瓢箪(唐物大内瓢箪茶入)(パネル展示)	(原資料) 野村美術館蔵
75	毛利元就伝 全	下関市立歴史博物館蔵
76	毛利輝元書状写(パネル展示)	(原資料) 山口県文書館蔵
77	功山寺略記	功山寺蔵
78	毛利隆元補任状写(パネル展示)	(原資料) 山口県文書館蔵
79	市川経好・内藤隆春連署書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
80	内藤隆春書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
81	理界曼荼羅・智界曼荼羅	神上寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
82	毛利氏奉行人連署書状	神上寺蔵
83	毛利隆元安堵状	神上寺蔵
84	内藤隆春寄進状	神上寺蔵
85	日幡神社棟札	日幡神社蔵・豊田文化財資料室寄託
86	毛利輝元自筆書状(パネル展示)	(原資料) 個人蔵・山口県文書館寄託

87	毛利輝元書状（パネル展示）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託
88	日明貿易船旗（複製）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託
89	村上武満書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
90	村上元吉書下	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
91	村上氏船旗（パネル展示）	（原資料）個人蔵・山口県文書館寄託

【関連イベント】

- ・ミニ講座

(ア)「大内氏と下関」

日 時 平成30年10月27日（土）
 講 師 岡松 仁
 聴講者数 34人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「毛利氏と下関」

日 時 平成30年11月24日（土）
 講 師 岡松 仁
 聴講者数 60人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

- ・れきはくクイズラリー

参加者数 863人

2. 調査研究・普及活動

- ・年報の製作
- ・出前講座 11件

3. 収集・保存

(1) 資料収集（寄贈・寄託・購入）

①寄贈・寄託資料

No	名 称	数 量	備 考
1	草場大麓詩書	6曲1双	寄 贈
2	田上家資料	182件1031点	寄 贈
3	棕梨家資料	190件196点	寄 贈
4	福原和勝写真	1枚	寄 贈
5	下関港絵葉書	1枚	寄 贈
6	酒田家資料	22件32点	寄 贈
7	鉄錆地十二間筋兜鉄横矧二枚胴具足（長府藩井上家伝来）	1領	寄 贈
8	毛利就禎筆 春暁詩	1点	寄 贈
9	赤間関硯	2面	寄 贈
10	児林家資料	161件	寄 贈
11	桂小五郎詩書	1幅	寄 贈
12	下関停車場関釜連絡船棧橋新設工事写真	1枚	寄 贈
13	PENNY MAGAZINE（ペニーマガジン）1838.8.31～9.30号	1冊	寄 贈
14	TRADE OF THE CONSULAR DISTRICT OF SHIMONOSEKI（下関領事館の貿易）	6冊	寄 贈

15	山崎コレクション	2 点	寄 託
16	本陣伊藤家資料(工芸品)	35 件	寄 託
17	高杉晋作詩書扇面(複製)	1 幅	寄 託
18	豊浦小学校教育資料館所蔵資料	7 点	寄 託
19	功山寺総門礎盤	1 点	寄 託
20	渡邊コレクション	8 件 9 点	寄 託
21	馬廻三吉家資料	1 点	寄 託
22	赤間関硯	1 面	寄 託
23	鉄錆地十三間筋兜鉄横矧二枚胴具足(長府藩伊秩家伝来)	1 領	寄 託

②購入資料

長府毛利家遺品

No	名 称	数 量
1	毛利秀元画像 慶安4年(1661)、狩野探幽筆	1 幅
2	毛利秀元画像	1 幅
3	毛利元就画像	1 幅
4	毛利綱元画像 毛利綱元自賛	1 幅
5	毛利匡広画像 覚苑寺素岳賛	1 幅
6	毛利元運画像	1 幅
7	毛利元周画像	1 幅
8	毛利元周画像	1 幅
9	わきざし 拵付 備前長船康光	1 口
10	わきざし 拵付 伊達綱宗	1 口
11	わきざし 拵付 兼定	1 口
12	わきざし 拵付 備前三原住正清	1 口
13	豊公朱章	4 卷
14	豊臣秀吉公朱章	1 卷
15	秀元公朝鮮御出陣書翰	1 卷
16	紫組冠懸免状	1 卷

(2) 収集審査会

平成31年3月1日(月) 13時00～ 実施

(1) 資料収集のうち①寄贈・寄託資料収集の可否について審査を実施した。

審査員 井土 誠(元下関市立美術館 館長)
 小山良昌(毛利博物館 顧問)
 利岡俊昭(元梅光学院大学文学部 教授)
 渡辺一雄(元梅光学院大学文学部 教授)

(3) くん蒸業務

委託先:三共アメニテクス株式会社 福岡支店(福岡県福岡市)
 平成31年3月17日～18日 下関市立歴史博物館館内くん蒸を実施
 平成31年3月17日～21日 旧長府博物館館内くん蒸を実施

(4) 資料の利用

①特別観覧

※下関市立歴史博物館及びその分館である日清講和記念館に収蔵する資料について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等を行うこと。

109 件

〈内訳〉

内容	熟覧	模写	模造	撮 影		複製	総計
				カラー	モノクローム		
件数				学術研究を目的とするもの 28 件	学術研究を目的とするもの 0 件		
				出版等収益を伴うもの 46 件	出版等収益を伴うもの 2 件		
				特別観覧料を免除したもの 32 件	特別観覧料を免除したもの 2 件		
				計 106 件	計 4 件		
	0 件	0 件	0 件			0 件	110 件

②資料貸付

No	展 覧 会 名 称	貸 付 先	数 量
1	幕末の城 —近世の沿岸警備と幕末期城郭—	九州歴史資料館	6 件 9 点
2	激動の幕末 長州藩主毛利敬親	山口県立美術館	3 件 3 点
3	頼山陽と九州	頼山陽史跡資料館	2 件 2 点
4	岡山ゆかりの肖像	岡山県立博物館	1 件 1 点
5	幕末維新という時代 —厚狭毛利家家臣二歩家の記録—	山陽小野田市歴史民俗資料館	3 件 5 点
6	平佐北郷家 13 代当主 北郷久信と明治維新 ～幕末・明治の薩摩川内	薩摩川内市川内歴史資料館	3 件 3 点
7	流浪の貴公子 —中山忠光卿の足跡と豊北	下関市立豊北歴史民俗資料館	9 件 9 点
8	蒙古襲来と竹崎季長	くまもと文学・歴史館	6 件 6 点
9	ユネスコ世界記憶遺産 通信使記憶物	大韓民国釜山広域市立博物館	4 件 9 点

4. その他

(1) 博学連携

・学校行事による児童・生徒の来館

小 学 校 2 校 149 名

中 学 校 13 校 538 名

高等学校 3 校 87 名

大 学 3 校 87 名

・小・中・高の社会科研究部会の研修講師

・出前講座等により、学芸員が学校で講義を実施

・博物館実習生の受け入れ 3 名

(2) 学術図書の寄附

・学術専門書など (利岡俊昭氏夫妻)

※一部を「利岡文庫」としてガイダンス交流室に配架。

(3) 交流事業

① 韓国国立海洋博物館

韓国の大学生 30 人を中心とする 2018「通信使の道、使行 1 万里—帰路」事業の探訪団が当館を訪れ、テーマ展の観覧、専門家講演会などを行なった。

日 時：8 月 26 日 (日)

② 釜山博物館

釜山博物館 2018 年国際交流展「ユネスコ世界記憶遺産通信使記憶物」に当館資料を出品するとともに、日本側出品資料の展示指導のため職員を派遣した。

(4) NPO 法人朝鮮通信使縁地連絡協議会朝鮮通信使ユネスコ連絡部会の加盟について

ユネスコ「世界の記憶」に登録された「朝鮮通信使に関する記録」の保存と活用に係る事業実施、所有者間の情報交換などを図るため、当該記録の日本側申請団体である NPO 法人朝鮮通信使縁地連絡協議会が設立したユネスコ連絡部会に所有者として加盟した。

(5) 歴史博物館敷地の愛称命名について

歴史博物館敷地(旧長府博物館敷地は除く。)について、平成 31 年 3 月 2 日付けで「志士の杜」と命名した。「志士の杜」は、下関市が策定した「いしん 150 構想」の実現に向け、平成 11 年 6 月に市民有志が結成した志士の杜推進実行委員会と本市が共同して推進した事業。維新を実現した人々の「志」に学び、これを本市のまちづくりの糧とするとともに、未来へ継承することを目的とし、志士群像の建立や幕末維新史跡の顕彰などを積極的に実施した。

平成 30 年度で当該事業が終了したことから、志士の杜推進実行委員会から「志士の杜」命名の提案が本市にあり受諾したもの。

III. 令和元年(平成31年)度事業概要

【管理運営】

1. 利用状況

(1) 観覧者数

●月別観覧者数

月	観覧者数(人)	月	観覧者数(人)
4月	3,469	10月	3,201
5月	4,772	11月	4,614
6月	2,089	12月	1,661
7月	2,350	1月	1,301
8月	3,818	2月	1,459
9月	2,377	3月	44
計	31,155		

年間開館日数 282 日

臨時休館 3月2日～3月31日 新型コロナウイルス感染症対策のため

(2) 企画展示及び特別展示実施状況

展 示 名	利 用 期 間	観覧者数
企画展 長門国府から長府へー城下町成立前史	4月1日(月) ～4月7日(日)	312人※1
高杉晋作生誕180年記念企画展 晋作と龍馬	4月13日(土) ～6月2日(日)	3,965人
企画展 源平合戦と下関	6月8日(土) ～7月15日(日)	1,324人
赤間関市誕生130年記念特別展 下関の鉄道物語	7月20日(土) ～9月23日(日)	3,391人
長府藩初代藩主毛利秀元生誕440年記念特別展 関ヶ原一天下分け目と毛利氏の戦い	10月1日(火) ～12月1日(日)	3,796人
企画展 幕末長州藩の戦いと戦術	12月7日(土) ～2月2日(日)	1,377人
企画展 下関の文化財ー美術工芸品を中心に	2月8日(土) ～4月5日(日)※2	478人※3

※1 観覧者数は4月1日～4月7日を計上。

※2 3月2日～3月31日、及び4月4日～4月5日は新型コロナウイルス感染症対策により臨時休館。

※3 観覧者数は2月8日～3月1日を計上。

(3) 図録刊行状況

名 称	発 行 年 月	頒 価
『赤間関市誕生130年記念特別展 下関の鉄道物語』	令和元年7月	1,000円
『長府藩初代藩主毛利秀元生誕440年記念特別展 関ヶ原一天下分け目と毛利氏の戦い』	令和元年10月	1,000円

(4) 年間行事

No	日 程	内 容
1	平成31年 4 月 20 日	企画展「晋作と龍馬」関連ミニ講座 「高杉晋作と薩摩藩」
2	令和元年 5 月 26 日	企画展「晋作と龍馬」関連ミニ講座 「徹底比較?! 晋作と龍馬」
3	令和元年 6 月 9 日	企画展「源平合戦と下関」展示解説
4	令和元年 6 月 15 日	歴史講座 & 展示解説 「坂本龍馬の手紙—東奔西走の記録を読む」
5	令和元年 6 月 23 日	企画展「源平合戦と下関」関連ミニ講座 「源平合戦と下関」
6	令和元年 7 月 7 日	企画展「源平合戦と下関」展示解説
7	令和元年 8 月 17 日	特別展「下関の鉄道物語」イベント
8	令和元年 8 月 18 日	特別展「下関の鉄道物語」イベント
9	令和元年 8 月 31 日	特別展「下関の鉄道物語」関連ミニ講座 「下関に鉄道がやってきた」
10	令和元年 9 月 8 日	特別展「下関の鉄道物語」関連ミニ講座 「下関駅・山陽ホテルの喧騒」
11	令和元年 9 月 14 日	特別展「下関の鉄道物語」イベント
12	令和元年 9 月 15 日	特別展「下関の鉄道物語」イベント
13	令和元年 9 月 21 日	歴史講座 & 展示解説 「紀行文にみる下関—旅人の目に映った下関」
14	令和元年 9 月 23 日	特別展「下関の鉄道物語」イベント
15	令和元年 10 月 6 日	特別展「関ヶ原」展示解説
16	令和元年 10 月 14 日	特別展「関ヶ原」展示解説
17	令和元年 10 月 26 日	特別展「関ヶ原」関連ミニ講座 「関ヶ原の毛利勢」
18	令和元年 11 月 2 日	城下町散策イベント
19	令和元年 11 月 4 日	特別展「関ヶ原」展示解説
20	令和元年 11 月 9 日	特別展「関ヶ原」展示解説
21	令和元年 11 月 16 日	城下町散策イベント
22	令和元年 11 月 17 日	表千家只楽会呈茶席
23	令和元年 11 月 23 日	特別展「関ヶ原」関連ミニ講座 「戦後処理と防長両国」
24	令和元年 11 月 23 日	城下町散策イベント
25	令和元年 11 月 30 日	城下町散策イベント
26	令和元年 12 月 21 日	歴史講座 & 展示解説 「毛利家の手紙—長文に込められた思い」
27	令和 2 年 1 月 26 日	歴史講座 & 展示解説 「串崎城のヒミツ—壊された城の物語」
28	令和 2 年 2 月 9 日	企画展「下関の文化財」展示解説
29	令和 2 年 2 月 10 日	下関市立歴史博物館博物館協議会

30	令和2年2月16日	企画展「下関の文化財」展示解説
31	令和2年2月23日	歴史講座 & 展示解説 「キリスト教宣教師がみた下関―黒田官兵衛の布教のススメ」
32	令和2年3月9日	歴史博物館資料収集審査会
33	令和2年3月22日～23日	下関市立歴史博物館館内くん蒸
34	令和2年3月22日～26日	旧長府博物館内くん蒸

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

①基本展示

下関の歴史について、館蔵品や模型を用いて通史的な展示を行い、適宜展示替えを実施した。

②テーマ展示

・下関戦争(通期)

幕末の下関において起こった下関戦争について、当時彦島の弟子待台場に備え付けられていた荻野流一貫目青銅砲と映像ブースを中心にした展示を行った。また、夏季には、平易にした解説パネルや写真パネルを用いて、子供向けの展示を行った。

・毛利家のなが〜い手紙(令和元年12月3日～令和2年2月2日)

毛利家の人々が出した長文の書状を展示するとともに、同家にまつわるさまざまなエピソードを紹介した。



企画展「晋作と龍馬」
関連ミニ講座



特別展「下関の鉄道物語」
イベント



特別展「関ヶ原」
展示解説



表千家只楽会呈茶席

(2) 企画展示

①長門国府から長府へー城下町成立前史

【会 期】 平成31年2月23日(土)
～平成31年4月7日(日)

【開館日数】 6日

【入館者数】 312人

※いずれも令和元年度(平成31年度)分のみ。

【担当学芸員】 岡松 仁

【出品点数】 60件

【展示概要】 長府の都市的性格の変遷や人々の営みを紹介。

【展示資料目録】

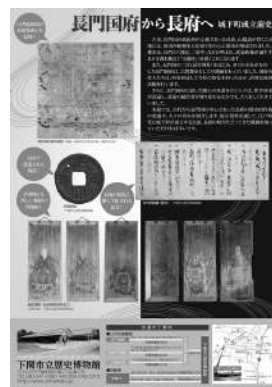
※前年度事業報告に掲載済みのため省略。

【関連イベント】

※前年度事業報告に掲載済みのため省略。



チラシ表



チラシ裏

②高杉晋作生誕180年記念企画展

晋作と龍馬

【会 期】 平成31年4月13日(土)
～令和元年6月2日(日)

【開館日数】 45日

【入館者数】 3,965人

【担当学芸員】 稲益あゆみ

【出品点数】 83件

【展示概要】 高杉晋作と坂本龍馬の関係資料を通じて、2人の活躍と交流に迫るとともに、下関とのかかわりを紹介。下関市立東行記念館常設企画展「赤間関之鎮主高杉晋作」との連携展示。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	高杉晋作写真(タペストリー展示)	(原資料) 下関市立東行記念館蔵
2	坂本龍馬写真(タペストリー展示)	(原資料) 個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
3	高杉晋作所用 赤絵菓子器	櫻山神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	天杯・参内の次第書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
5	高杉晋作和歌・久坂玄瑞書状貼交	下関市立歴史博物館蔵
6	武市平半太自画賛刷物	下関市立歴史博物館蔵
7	久坂玄瑞和歌書	東行庵蔵・下関市立東行記念館寄託
8	第三次攘夷戦図(パネル展示)	(原資料) 下関市立歴史博物館蔵
9	胴乱	下関市立歴史博物館蔵
10	袖印	下関市立東行記念館蔵
11	坂本龍馬書状 坂本乙女宛 文久3年6月(複製)	(原資料) 京都国立博物館蔵
12	七卿西下図	下関市立歴史博物館蔵
13	吉川経幹周旋記 第2	岩国徴古館蔵
14	高杉晋作愛玩石	櫻山神社蔵・下関市立歴史博物館寄託

15	馬関戦争図 藤島常興筆（タペストリー展示）	（原資料）下関市立歴史博物館蔵
16	甲子兵燹図（パネル展示）	（原資料）下関市立豊浦小学校教育資料館蔵
17	勝海舟書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
18	櫻芭帖	下関市立歴史博物館蔵
19	泰平中国御固附	下関市立歴史博物館蔵
20	東久世通禧書	下関市立歴史博物館蔵
21	高杉和助（晋作）ほか六名斬罪状写	岩国徴古館蔵
22	志道安房手控写（伝吉川経幹御直書）	岩国徴古館蔵
23	三家老首実検図	岩国徴古館蔵
24	墨竹図 野村望東尼筆	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	三吉周亮履歴并日記中摘要	下関市立歴史博物館蔵
26	三條実美・早川勇・野村和作写真（パネル展示）	（原資料）下関市立歴史博物館蔵
27	高杉晋作肖像	下関市立歴史博物館蔵
28	新地会所図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
29	山縣有朋詩書	下関市立歴史博物館蔵
30	毛利元純肖像	下関市立歴史博物館蔵
31	毛利元周肖像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	毛利元純・毛利元蕃・毛利元周書状草稿	下関市立歴史博物館蔵
33	回復私議	下関市立東行記念館蔵
34	坂本龍馬写真（パネル展示）	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
35	木戸孝允書状 時田少輔宛 慶応元年閏5月3日	下関市立歴史博物館蔵
36	古谷道庵日乗 第 82	下関市立歴史博物館蔵
37	三ツ組盃 銘 下り蜘蛛	下関市立歴史博物館蔵
38	坂本龍馬所用 飯碗・湯呑	下関市立歴史博物館蔵
39	伊藤博文写真（パネル展示）	（原資料）下関市立東行記念館蔵
40	ミニエー銃弾	下関市立歴史博物館蔵
41	大久保利通写真（パネル展示）	（原資料）下関市立歴史博物館蔵
42	中野源蔵日記	個人蔵
43	坂本龍馬書状 印藤聿宛 慶応元年 12 月 3 日	下関市立歴史博物館蔵
44	吉川経幹周旋記 第 16	岩国徴古館蔵
45	木戸孝允詩書	岩国徴古館蔵
46	高杉晋作詩書扇面（複製）	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
参考	スミス&ウエッソンモデルⅡアーミー（複製）	下関市立東行記念館蔵
47	西郷隆盛詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	三吉慎蔵日記	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
49	瓦版 九州小倉合戦図	下関市立歴史博物館蔵
50	小倉戦争差図書	下関市立東行記念館蔵
51	坂本龍馬書状 品川省吾宛 慶応2年6月16日	下関市立歴史博物館蔵
52	小倉戦争戦闘絵図写	下関市立歴史博物館蔵
53	白石正一郎日記草稿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

54	小倉城落城図写	下関市立歴史博物館蔵
55	万国幟印	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
56	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応2年8月16日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	白石家浜門写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
58	高杉晋作書状 白石正一郎宛 慶応元年1月2日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
59	高杉晋作書状 白石正一郎宛 慶応2年3月21日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
60	高杉晋作書状 白石正一郎宛 慶応元年7月26日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
61	入江家屋敷割図	下関市立歴史博物館蔵
62	伊万里焼菓子鉢	下関市立歴史博物館蔵
63	鉢巻	下関市立歴史博物館蔵
64	本陣伊藤家間取図(パネル展示)	(原資料)個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
65	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 慶応3年5月28日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
66	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 慶応2年12月20日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
67	坂本龍馬書状 伊藤九三宛 慶応3年5月7日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
68	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年5月5日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
69	東行遺稿	下関市立東行記念館蔵
70	坂本龍馬和歌短冊	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
71	坂本龍馬俚謡	下関市立歴史博物館蔵
72	白石正一郎日記中摘要	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
73	高杉晋作遺愛小硯	櫻山神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
74	観音像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
75	坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 慶応3年5月8日	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
76	坂本龍馬筆 新政府綱領八策	下関市立歴史博物館蔵
77	家内行事録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
78	伊藤九三書状 三吉慎蔵・印藤聿宛 慶応3年12月2日	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
79	日原素平歌書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
80	高杉晋作顕彰碑除幕式写真	東行庵蔵・下関市立東行記念館寄託
81	熊野直介書状 三吉慎蔵・印藤聿宛(諸氏書簡)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
82	古谷道庵日乗 第90	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・関連講座&展示解説

(ア)①「高杉晋作と薩摩藩」

日 時 平成31年4月20日(土)
 講 師 稲益あゆみ
 聴講者数 62人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「徹底比較?! 晋作と龍馬」

日 時 平成31年5月26日(日)
 講 師 稲益あゆみ
 聴講者数 52人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

③源平合戦と下関

- 【会 期】 令和元年 6 月 8 日（土）
～令和元年 7 月 15 日（月・祝）
- 【開館日数】 33 日
- 【入館者数】 1,324 人
- 【担当学芸員】 岡松 仁
- 【出品点数】 50 件
- 【展示概要】 壇ノ浦の合戦に至る源平の合戦の推移とともに、合戦が下関に及ぼした影響についても紹介。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	長澤栄州筆 射鎧図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
2	狩野柳伯筆 豊照神社奉納絵馬	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
3	錦絵 前太平記相馬内裏之図	下関市立歴史博物館蔵
4	細川系図	個人蔵
5	錦絵 源頼光公館土蜘蛛妖怪図	下関市立歴史博物館蔵
6	源氏物語図屏風	個人蔵・当館寄託
7	後三年合戦画略写抜粋	下関市立歴史博物館蔵
8	長門本平家物語 巻第 1	個人蔵・当館寄託
9	錦絵 安芸宮島弁財天真体をあらわし清盛が威勢をくちく	下関市立歴史博物館蔵
10	厳島社頭之図	下関市立歴史博物館蔵
11	錦絵 常磐御前	下関市立歴史博物館蔵
12	鞍馬図	下関市立歴史博物館蔵
13	兵法場之由来	下関市立歴史博物館蔵
14	長門本平家物語 巻第 10	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
15	錦絵 北国大合戦	下関市立歴史博物館蔵
16	錦絵 生田杜大合戦之図	下関市立歴史博物館蔵
17	錦絵 一之谷鶴越逆落之図	下関市立歴史博物館蔵
18	源平合戦図屏風	下関市立歴史博物館蔵
19	錦絵 八島大合戦	下関市立歴史博物館蔵
20	錦絵 義経弓流之図	下関市立歴史博物館蔵
21	彦島古図	下関市立歴史博物館蔵
22	絵葉書 安徳天皇御駐輦古蹟王城山	下関市立歴史博物館蔵
23	長門本平家物語 巻第 18	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	錦絵 檀之浦大合戦之図	下関市立歴史博物館蔵
25	錦絵 長門国赤間浦源平大合戦之図	下関市立歴史博物館蔵
26	安徳天皇縁起絵 第 7 幅・第 8 幅（複製）	（原資料）赤間神宮蔵
27	錦絵 長門国赤間の浦に於て源平大合戦 平家亡びるの図	下関市立歴史博物館蔵
28	阿弥陀寺境内絵図（複製）	（原資料）赤間神宮蔵

29	源有経解案	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
30	長門国司庁宣	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
31	毛利元就画像	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
32	阿弥陀寺養専書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	赤間関信使屋并近辺図（複製）	（原資料）岩国徴古館蔵
34	朝鮮通信使副使任守幹 壇ノ浦懷古詩（複製）	（原資料）赤間神宮蔵
35	朝鮮通信使壇ノ浦懷古詩写	下関市立歴史博物館蔵
36	長府毛利家系図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
37	毛利秀元画像	下関市立歴史博物館蔵
38	中山寺略縁起	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
39	西遊雜記	下関市立歴史博物館蔵
40	長崎紀行	下関市立歴史博物館蔵
41	癸亥防長紀行（パネル展示）	（原資料）山口県文書館蔵
42	赤間関景観図	下関市立歴史博物館蔵
43	高島北海筆 干満二島之図	下関市立歴史博物館蔵
44	赤馬関細見之図	下関市立歴史博物館蔵
45	大日本海陸名所図会	下関市立歴史博物館蔵
46	毛利敬親台場巡見図 阿弥陀寺町	下関市立歴史博物館蔵
47	官幣中社赤間宮略図	下関市立歴史博物館蔵
48	楫取素彦書簡 白石正一郎宛	下関市立歴史博物館蔵
49	白石正一郎日記（明治10年12月27日条）	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	絵葉書	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・ミニ講座

「源平合戦と下関」

日 時 令和元年6月23日（日）
 講 師 岡松 仁
 聴講者数 60人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

・展示解説

日 時 令和元年6月9日（日）
 参加者数 56人
 日 時 令和元年7月7日（日）
 参加者数 61人

④幕末長州藩の戦いと戦術

- 【会 期】 令和元年 12 月 7 日（土）
～令和 2 年 2 月 2 日（日）
- 【開館日数】 43 日
- 【入館者数】 1,377 人
- 【担当学芸員】 稲益あゆみ
- 【出品点数】 68 件
- 【展示概要】 下関戦争や、小倉口の戦いなど、
下関を舞台に起こった戦いを中心
に、戦いの経過や、用いられた兵
器、戦術等を紹介。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	フェートン号図（パネル展示）	（原資料）長崎歴史文化博物館蔵
2	高島秋帆徳丸原演習図（パネル展示）	（原資料）長崎歴史文化博物館蔵
3	ペリー艦隊の砲丸	下関市立歴史博物館蔵
4	黒船来朝図（パネル展示）	（原資料）下関市立歴史博物館蔵
5	長州藩相州警衛絵図	下関市立歴史博物館蔵
6	毛利家乗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	毛利敬親台場巡見図 海士郷	下関市立歴史博物館蔵
8	大砲設計図	下関市立歴史博物館蔵
9	砲弾設計図	下関市立歴史博物館蔵
10	象限儀	下関市立歴史博物館蔵
11	ノギス	下関市立歴史博物館蔵
12	請取申金子之事	下関市立歴史博物館蔵
13	十能	下関市立歴史博物館蔵
14	長州藩軍艦庚申丸図（パネル展示）	（原資料）岡山大学附属図書館蔵
15	長府古城山ヨリ関小戸迄海岸測量絵図控	下関市立歴史博物館蔵
16	久坂玄瑞肖像（パネル展示）	（原資料）山口県立山口博物館蔵
17	亀山八幡宮写真	下関市立歴史博物館蔵
18	フランス士官の下関海戦記	個人蔵
19	毛利家乗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
20	第三次攘夷戦図 ド・ハート筆	下関市立歴史博物館蔵
21	下関交戦新聞	下関市立歴史博物館蔵
22	長州藩軍艦癸亥丸図（パネル展示）	（原資料）岡山大学附属図書館蔵
23	奇兵隊総督旗（複製）（パネル展示）	（原資料）東行庵蔵・下関市立東行記念館寄託
24	農兵旗	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	攘夷戦備図写（複製）	（原資料）個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	馬関戦争図 藤島常興筆	下関市立歴史博物館蔵
27	馬関戦争絵図	下関市立歴史博物館蔵
28	禁門の変状況報告写	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
29	桂縫殿書状 三吉内蔵之助・西小豊後宛 元治元年 8 月 6 日	下関市立歴史博物館蔵

30	両軍砲弾	下関市立歴史博物館蔵
31	四斤施條砲弾略図	下関市立歴史博物館蔵
32	銃弾・弾薬箱	下関市立歴史博物館蔵
33	下関戦争写真	下関市立歴史博物館蔵
34	八十斤カノン砲模型	下関市立歴史博物館蔵
35	木砲	下関市立歴史博物館蔵
36	占拠された前田低台場	下関市立歴史博物館蔵
37	山口御屋形図（パネル展示）	（原資料）山口県立山口博物館蔵
38	兵家須知戦闘術門	下関市立歴史博物館蔵
39	ミニエー銃弾	下関市立歴史博物館蔵
40	小松帯刀肖像（パネル展示）	（原資料）国立国会図書館蔵
41	長防臣民合議書	下関市立歴史博物館蔵
42	血盟書	下関市立歴史博物館蔵
43	御城山ヨリ馬関彦島沖測量図	下関市立歴史博物館蔵
44	長州再征軍進発図	下関市立歴史博物館蔵
45	向地渡海部隊編成写	下関市立歴史博物館蔵
46	古谷道庵日乗 第 85	下関市立歴史博物館蔵
47	小倉戦争戦闘絵図写	下関市立歴史博物館蔵
48	四境の役状況報告書	下関市立歴史博物館蔵
49	当時居付之大砲	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	古谷道庵日乗 第 86	下関市立歴史博物館蔵
51	小倉城落城図写	下関市立歴史博物館蔵
52	小倉城周辺諸隊等配置図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	高杉晋作詩歌	櫻山神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
54	戊辰戦争瓦版	下関市立歴史博物館蔵
55	戊辰戦争絵巻	下関市立歴史博物館蔵
56	新政府軍部署及び諸布達控	下関市立歴史博物館蔵
57	北越出兵沙汰書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
58	福原和勝詩書	下関市立歴史博物館蔵
59	器械方覚	下関市立歴史博物館蔵
60	福原和勝詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
61	エンフィールド銃	下関市立歴史博物館蔵
62	報国隊士軍服	下関市立豊北歴史民俗資料館蔵
63	袖印	下関市立豊北歴史民俗資料館蔵
64	胴乱	下関市立歴史博物館蔵
65	賞典禄	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
66	福原和勝錦絵	下関市立歴史博物館蔵
67	梶山鼎介写真	下関市立歴史博物館蔵
68	脱隊兵鎮圧平静に服する旨乞執奏	下関市立歴史博物館蔵

⑤下関の文化財－美術工芸品を中心に－

【会 期】 令和2年2月8日（土）
～令和2年4月5日（日）

※3月2日～3月31日、及び4月4日～
4月7日は、新型コロナウイルス感染症
対策のため臨時休館

【開館日数】 20日

【入館者数】 478人

※いずれも令和元年度（平成31年度）分のみ。

【担当学芸員】 岡松 仁

【出品点数】 71件

【展示概要】 下関に遺るさまざまな文化財のうち、
美術工芸品を通して下関の歴史につ
いて紹介

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	熊野権現山経塚出土品	下関市立歴史博物館蔵
2	銅造聖観音菩薩坐像懸仏	下関市立歴史博物館蔵
3	八幡大菩薩縁起（パネル展示）	（原資料）吉賀八幡宮蔵・下関市立歴史博物館寄託
4	忌宮神社境内絵図（複製）	（原資料）忌宮神社蔵
5	阿弥陀寺境内絵図（複製）	（原資料）赤間神宮蔵
6	仏涅槃図	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	楊柳観音坐像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
8	虚庵玄寂（寂空）行録	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
9	木造二十八部衆立像 神母天像・乾闥婆像	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
10	維摩居士図	功山寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
11	鰐口	下関市立歴史博物館蔵
12	鰐口 大江宣秀作	美栄神社蔵・下関市立歴史博物館寄託
13	鰐口 伊藤景繁作	下関市立歴史博物館蔵
14	軍配	下関市立歴史博物館蔵
15	弓具	下関市立歴史博物館蔵
16	日月文様軍扇	下関市立歴史博物館蔵
17	毛利元平筆 神仙図	下関市立歴史博物館蔵
18	毛利元義筆 梅図	下関市立歴史博物館蔵
19	黒塗唐草文煙草盆	下関市立歴史博物館蔵
20	花卉文螺鈿提重	下関市立歴史博物館蔵
21	沢瀉＝南天柄鏡	下関市立歴史博物館蔵
22	伝狩野晴皐筆 赤間関絵図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	狩野晴皐筆 鐘馗図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
24	狩野芳崖筆 四季花鳥図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
25	諸葛遠筆 武田信玄画像	下関市立歴史博物館蔵
26	笹山養意筆 千利休画像	下関市立歴史博物館蔵

27	寒江独釣図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
28	度会文流斎筆 梅天神図	下関市立歴史博物館蔵
29	高島北海筆 干満二島之図	下関市立歴史博物館蔵
30	高島北海筆 石柱溪五龍瀑布図	下関市立歴史博物館蔵
31	高島北海筆 長門峡和留瀬図	下関市立歴史博物館蔵
32	高島北海筆 青海島大門図	下関市立歴史博物館蔵
33	高島北海筆 富嶽図	下関市立歴史博物館蔵
34	高島北海筆 朝鮮金剛山三仙岩図	下関市立歴史博物館蔵
35	高島北海筆 根菜図	下関市立歴史博物館蔵
36	高島北海筆 海鮮図	下関市立歴史博物館蔵
37	高島北海筆 躑躅図	下関市立歴史博物館蔵
38	高島北海筆 竹図	下関市立歴史博物館蔵
39	高島北海筆 松図	下関市立歴史博物館蔵
40	高島北海筆 山水図	下関市立歴史博物館蔵
41	高島北海筆 山水図	下関市立歴史博物館蔵
42	高島北海筆 里山図	下関市立歴史博物館蔵
43	赤間関硯	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
44	赤間関硯	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵 下関市立歴史博物館寄託
45	赤間関硯	下関市立歴史博物館蔵
46	赤間関硯	下関市立歴史博物館蔵
47	赤間関硯	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
48	雲烟帖	下関市立歴史博物館蔵
49	観瀾閣記(パネル展示)	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
50	手折菊	下関市立歴史博物館蔵
51	空月庵むだ袋	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
52	永富独嘯庵書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
53	乃木希典歌書	下関市立歴史博物館蔵
54	松風山焼 茶碗	下関市立歴史博物館蔵
55	松風山焼 茶碗	下関市立歴史博物館蔵
56	松風山焼 青磁燭台	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
57	鷹山焼 染付梅樹文壺	下関市立歴史博物館蔵
58	鷹山焼 青磁双魚文菓子器	下関市立歴史博物館蔵
59	星里焼 藤花文花瓶	下関市立歴史博物館蔵
60	金明国筆 拾得図(パネル)	(原資料) 下関市立歴史博物館蔵
61	趙曦書帖	下関市立歴史博物館蔵
62	朝鮮通信使製述官南玉詩書	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
63	朝鮮通信使副使任守幹 壇ノ浦懷古詩(複製)	(原資料) 赤間神社蔵
64	染付欧風山水文蓋物	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
65	金彩碗皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

66	染付樓閣山水文皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
67	取手付碗皿	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
68	農夫図扇面	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
69	奥平昌高蘭文詩	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
70	ブロンホフ筆 奥平昌高賛詩	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
71	蘭語発音覚	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託

【関連イベント】

・展示解説

- (ア)日 時 令和2年2月9日（日）
参加者数 9人
(イ)日 時 令和2年2月16日（日）
参加者数 6人
※3月開催予定の3回は臨時休館のため中止。

(3) 特別展示

①赤間関市誕生130年記念特別展

下関の鉄道物語

【会 期】 令和元年 7 月 20 日（土）
～令和元年 9 月 23 日（日）

【開館日数】 57 日

【入館者数】 3,391 人

【担当学芸員】 田中洋一

【出品点数】 130 件

【展示概要】 近代化を目指す日本に劇的な変化をもたらした鉄道の歴史を振り返るとともに、鉄道開通により新たな風が吹き込まれた下関の発展を紹介。



チラシ表



チラシ裏

【展示資料目録】

No	資 料 名	所 蔵
1	ロコモーション号模型	鉄道博物館蔵
参考①	ジョージ・スティーブンスン写真	鉄道博物館蔵
2	ロケット号模型	鉄道博物館蔵
3	ブリキ玩具ロケット号	個人蔵
4	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース (1862 年 12 月 27 日号)	個人蔵
5	五大洲誌略 巻一	品川区立品川歴史館蔵
6	地球説略 中巻 欧羅巴大洲之部	品川区立品川歴史館蔵
7	地球説略 下巻 亜非理加大洲之部	品川区立品川歴史館蔵
8	亜墨利加国蒸気車往来	長崎歴史文化博物館蔵
9	漂流記 濱田彦蔵	鉄道博物館蔵
10	遠西奇器述	鉄道博物館蔵
11	長崎港と湾の眺望	シーボルト記念館蔵
12	プチャーチン像	長崎歴史文化博物館蔵
13	ペリー提督日本遠征記 第 1 巻	下関市立歴史博物館蔵

14	ペリー提督日本遠征記 挿図	品川区立品川歴史館蔵
15	亜墨利加船渡来横濱之真図	神奈川県立歴史博物館蔵
16	異国落葉簞	鉄道博物館蔵
17	北亜墨利加合衆国帝王ヨリ献上貢物品々	品川区立品川歴史館蔵
18	献品ノ内小蒸気車運転ノ図(複製)	鉄道博物館蔵
19	北米合衆国水師提督ペルリ渡来ノ節幕府へ献 セシ機械図	鉄道博物館蔵
20	ペリー持参の蒸気機関車模型(復元)	神奈川県立歴史博物館蔵
21	鍋島直正写真(パネル展示)	(原資料) 国立国会図書館蔵
22	蒸気車雛型	公益財団法人鍋島報効会蔵
23	佐賀藩精練方絵図	公益財団法人鍋島報効会蔵
24	三重津海軍所之図	公益財団法人鍋島報効会蔵
25	蒸気船雛型(外輪船)(パネル展示)	(原資料) 公益財団法人鍋島報効会蔵
26	蒸気船雛型(スクリー船)(パネル展示)	(原資料) 公益財団法人鍋島報効会蔵
27	蒸気機関の図(複製)	武雄市蔵
28	手頭留 文書科事務簿(パネル展示)	(原資料) 長崎歴史文化博物館蔵
29	大浦居留地図	シーボルト記念館蔵
30	グラバー写真 高杉晋作所持写真帳(パネル 展示)	(原資料) 下関市立東行記念館蔵
31	蒸気車模型ナポレオン号	山口県立山口博物館蔵
32	蒸気車模型興丸号	萩博物館蔵
33	毛利興丸写真	下関市立歴史博物館蔵
34	毛利敬親肖像画 キョッソーネ筆	山口県立山口博物館蔵
35	伊藤博文/井上馨/山尾庸三写真	下関市立歴史博物館蔵
36	萩藩英国留学生写真(パネル展示)	(原資料) 山口県光市 伊藤公資料館蔵
37	フェリーチェ・ベアト撮影下関戦争写真	下関市立歴史博物館蔵
38	福原和勝写真	下関市立歴史博物館蔵
39	毛利元敏写真	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
40	仮開業通知(パネル展示)	(原資料) 品川区立品川歴史館蔵
41	仮開業中の運賃・時刻表(パネル展示)	(原資料) 品川区立品川歴史館蔵
42	幸臨鉄道開行式	下関市立歴史博物館蔵
43	御幸臨鉄道開業縦観券	神奈川県立歴史博物館蔵
44	ル・モンド・イラストレ 1872年12月7日号	品川区立品川歴史館蔵
45	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 1872年12月7日号	個人蔵
46	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 1872年12月21日号	個人蔵
47	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 1872年12月28日号	個人蔵
48	汐留ヨリ横浜迄鉄道開業御乗初諸人拝礼之図	品川区立品川歴史館蔵
49	蒸気車出発	品川区立品川歴史館蔵
50	芝口汐留橋ヨリ鉄道館一覽之図	品川区立品川歴史館蔵

51	東京新橋蒸気車往復図	山口県立山口博物館蔵
52	東京名所之内新橋ステーション蒸気車鉄道図	長崎歴史文化博物館蔵
53	新橋鉄道蒸気車之図 東京銀座煉瓦石繁栄之図	長崎歴史文化博物館蔵
54	東京高縄品川口蒸気車往来之図	長崎歴史文化博物館蔵
55	東海名所改正道中記二 新橋 品川迄一り二十丁	品川区立品川歴史館蔵
56	東京開化三十六景 品川ステーション	品川区立品川歴史館蔵
57	鉄道独案内 川崎	長崎歴史文化博物館蔵
58	東海名所改正道中記五 神奈川 程ヶ谷迄一り九丁	長崎歴史文化博物館蔵
59	横浜鉄道館蒸気車之図	長崎歴史文化博物館蔵
60	東京名勝之内高輪蒸気車鉄道全図	品川区立品川歴史館蔵
61	東京蒸気車鉄道一覽之図	品川区立品川歴史館蔵
62	新橋駅絵皿・蒸気機関車絵皿	個人蔵
63	烏森駅（新称＝新橋駅）付近図面	下関市立歴史博物館蔵
	烏森駅（新称＝新橋駅）姿図	下関市立歴史博物館蔵
	烏森駅（新称＝新橋駅）停車場平面図	下関市立歴史博物館蔵
64	山陽鉄道株式会社瓦	京都鉄道博物館蔵
65	山陽鉄道全線開通ポスター（パネル展示）	（原資料）個人蔵
66	門徳連絡船きっぷ 馬関丸・春日丸	天理大学附属天理参考館蔵
67	一宮駅・馬関駅きっぷ	天理大学附属天理参考館蔵
68	埴生駅・長府駅きっぷ	天理大学附属天理参考館蔵
69	長府駅写真	下関市立歴史博物館蔵
70	下関駅の振鈴	西日本鉄道株式会社・下関駅蔵
71	停車場絵はがき	下関市立歴史博物館蔵
72	赤間関市街旅客案内図	下関市立歴史博物館蔵
73	長府市街図	下関市立歴史博物館蔵
74	山陽鉄道案内	天理大学附属天理参考館蔵
75	九州鉄道旅客便覧	鉄道博物館蔵
76	山陽鉄道連帯乗車船券	天理大学附属天理参考館蔵
77	九州鉄道・山陽鉄道沿案内 明治 33 年 11 月	天理大学附属天理参考館蔵
78	九州鉄道・山陽鉄道沿案内 明治 35 年 3 月	天理大学附属天理参考館蔵
79	九州鉄道・山陽鉄道沿案内 明治 38 年 5 月	天理大学附属天理参考館蔵
80	九州鉄道・山陽鉄道沿案内 明治 38 年 11 月	天理大学附属天理参考館蔵
81	関門連絡船絵はがき	下関市立歴史博物館蔵
82	貨車航走船絵はがき	下関市立歴史博物館蔵
83	神戸～下関 1 等きっぷ・下関～門司乗船券	天理大学附属天理参考館蔵
84	蒸気機関車形式図	山口市小郡文化資料館蔵
85	六輪連結機関車略図	山口市小郡文化資料館蔵
86	別府正明市鉄道線路実測縦断面図	山口市小郡文化資料館蔵

87	別府正明市鉄道路線実測平面図	山口市小郡文化資料館蔵
88	長門軽便鉄道予測線縦断面図	下関市立歴史博物館蔵
89	長門軽便鉄道予測線平面図	下関市立歴史博物館蔵
90	長州長門両軽便鉄道比較一覧	下関市立歴史博物館蔵
91	長門新聞 明治44年3月19日	下関市立歴史博物館蔵
92	山陽鉄道案内	個人蔵
93	販売品目録	天理大学附属天理参考館蔵
94	山陽鉄道案内・山陽鉄道連絡略図	天理大学附属天理参考館蔵
95	2等寝台きっぷ	天理大学附属天理参考館蔵
96	特別急行座席券・寝台券	天理大学附属天理参考館蔵
97	特急の名前募集(パネル展示)	(原資料) 鉄道博物館蔵
98	特急列車に名前(パネル展示)	(原資料) 鉄道博物館蔵
99	特急富士テールマーク(複製)	鉄道博物館蔵
100	3等寝台案内・3等寝台券	天理大学附属天理参考館蔵
101	特急列車スタンプ	天理大学附属天理参考館蔵
102	特急券1・3等	天理大学附属天理参考館蔵
103	駅弁掛け紙	京都鉄道博物館蔵
参考 ②	食堂車案内	個人蔵
104	山陽ホテル絵はがき	個人蔵
105	旧山陽ホテル外壁レリーフ	京都鉄道博物館蔵
参考 ③	旧山陽ホテルテラコッタ	下関市立教育委員会文化財保護課蔵
106	山陽ホテル再築工事設計図(側面・正面)	京都鉄道博物館蔵
107	山陽ホテル再築工事設計図(背面・側面)	京都鉄道博物館蔵
108	山陽ホテル再築工事設計図(断面)	京都鉄道博物館蔵
109	山陽ホテル設計図(地下室・1階)	京都鉄道博物館蔵
110	山陽ホテル設計図(2階・3階)	京都鉄道博物館蔵
111	山陽ホテル再築工事設計図 (正面入口詳細図)	京都鉄道博物館蔵
112	山陽ホテル再築工事設計図 (玉突・酒場詳細図)	京都鉄道博物館蔵
113	山陽ホテル地下室食堂案内新設工事設計図	京都鉄道博物館蔵
114	山陽鉄道レール	京都鉄道博物館蔵
115	線路一覧略図	個人蔵
116	関釜連絡船壱岐丸きっぷ	天理大学附属天理参考館蔵
117	関釜連絡船絵はがき	下関市立歴史博物館蔵
118	下関停車場関釜連絡棧橋新設工事写真	下関市立歴史博物館蔵
119	関門連絡調査路線記入図	個人蔵
120	関門トンネル計画図	個人蔵
121	関門鉄道トンネル工事写真(複製)	下関市立歴史博物館蔵
122	関門鉄道トンネル開通絵はがき	下関市立歴史博物館蔵

123	関門鉄道トンネル開通記念乗車券	天理大学附属天理参考館蔵
124	山陽電気軌道乗車券	天理大学附属天理参考館蔵
125	山陽電気軌道回数乗車券	天理大学附属天理参考館蔵
126	下関鳥瞰図	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

- ・ミニ講座

(ア)「下関に鉄道がやってきた」

日 時 令和元年8月31日（土）
 講 師 田中洋一
 聴 講 者 数 55人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「下関駅・山陽ホテルの喧騒」

日 時 令和元年9月8日（日）
 講 師 田中洋一
 聴 講 者 数 69人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

- ・こども鉄道模型運転会
 - ・ミニSL展示会
 - ・こども制服試着体験
 - ・京都鉄道博物館のミニSL展示
 - ・日本遺産関門“ノスタルジック”海峡巡回パネル展
- 参 加 者 数 895人

②長府藩初代藩主毛利秀元生誕440年記念特別展

関ヶ原一天下分け目と毛利氏の戦い

【会 期】 令和元年 10 月 1 日（火）
 ～令和元年 12 月 1 日（日）

【開館日数】 54 日

【入館者数】 3,796 人

【担当学芸員】 松田和也

【出品点数】 67 件

【展示概要】 国内屈指の大大名であった毛利氏は、なぜ敗れたのか。関ヶ原に至るまでの毛利氏の内情に迫り、その要因を探る。

【展示資料目録】



チラシ表



チラシ裏

No	資 料 名	所 蔵
1	毛利秀元座像	高林寺蔵
2	毛利元清画像	来福寺蔵・下関市立歴史博物館寄託
3	毛利元清書状	下関市立歴史博物館蔵
4	梨子地菊桐文散蒔絵鞍	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
5	黒漆桐紋蒔絵印籠	下関市立豊浦小学校教育資料館蔵 下関市立歴史博物館寄託
6	毛利家乗 1	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
7	小早川隆景画像	個人蔵
8	邨田丹陵筆 小早川隆景椅桂仮寝之図	個人蔵

9	邨田丹陵筆 壁蹄館勇戦之図	個人蔵
10	豊臣秀吉朱印状	下関市立歴史博物館蔵
11	鉄錆地五十八間筋兜 萌葱絲威肩白胴丸	住吉神社蔵
12	唐物茶壺 銘 玉蟲	下関市立歴史博物館蔵
13	毛利秀就所用 産着	毛利博物館蔵
14	毛利家乗 3	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
15	長府毛利家系図	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
16	毛利輝元画像	毛利博物館蔵
17	毛利秀就画像	毛利博物館蔵
18	狩野探幽筆 毛利秀元画像	下関市立歴史博物館蔵
19	吉川広家画像	吉川史料館蔵
20	毛利元政画像	天徳寺蔵
21	小早川秀包画像	玄濟寺蔵
22	毛利輝元起請文	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
23	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
24	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
25	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
参考	毛利輝元国割書(パネル展示)	(原資料) 個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
26	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
27	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
28	毛利輝元書状	厚狭毛利家蔵 山陽小野田市立厚狭図書館寄託
29	毛利綱元筆 毛利甲斐守秀元譜略	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
30	毛利輝元書状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
31	毛利秀元起請文	毛利博物館蔵
32	毛利輝元知行宛行状	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
33	毛利輝元法度	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
34	内府ちがいの条々	福岡市博物館蔵
35	毛利輝元書状	大阪城天守閣蔵
36	安国寺恵瓊座像	不動院蔵
37	安国寺恵瓊板絵	龍潭寺蔵
38	関ヶ原合戦図絵巻	大阪城天守閣蔵
39	聞見録	個人蔵・下関市立歴史博物館寄託
40	秀元公関ヶ原え従伏見御出陣御備	下関市立歴史博物館蔵
41	伊勢国津城合戦頸注文	毛利博物館蔵
42	吉川広家書状	吉川史料館蔵
43	吉川広家書状	吉川史料館蔵

44	井伊直政・本多忠勝連署起請文	毛利博物館蔵
45	福島正則・黒田長政連署起請文	毛利博物館蔵
46	加藤清正書状	福岡市博物館蔵
47	豊臣秀頼自筆神号	大阪城天守閣蔵
48	木造東照権現座像	福岡市博物館蔵
49	徳川家康感状写	大阪城天守閣蔵
50	徳川家康二十将図	大阪城天守閣蔵
51	黒田長政画像	福岡市博物館蔵
52	石田三成画像	龍潭寺蔵
53	蔦唐草文蒔絵鞭	下関市立歴史博物館蔵
54	一文字三星旌旗	下関市立歴史博物館蔵
55	五七桐旌旗	下関市立歴史博物館蔵
56	関ヶ原合戦絵図	大阪城天守閣蔵
57	関ヶ原合戦絵図	福岡市博物館蔵
58	関ヶ原東西両軍配置図	下関市立歴史博物館蔵
59	東照宮縁起絵巻 第2巻	大阪城天守閣蔵
60	関ヶ原合戦図屏風 右隻	福岡市博物館蔵
61	関ヶ原合戦図屏風	大阪城天守閣蔵
62	関ヶ原合戦図屏風	彦根城博物館蔵
63	関ヶ原合戦図屏風	敦賀市立博物館蔵
64	毛利秀元感状	下関市立歴史博物館蔵
65	毛利秀元感状写	下関市立豊北町歴史民俗資料館蔵
66	吉川広家起請文前書写	福岡市博物館蔵
67	防長両国図	下関市立歴史博物館蔵

【関連イベント】

・ミニ講座

(ア)「関ヶ原の毛利勢」

日 時 令和元年10月26日（土）
 講 師 松田和也
 聴講者数 74人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

(イ)「戦後処理と防長両国」

日 時 令和元年11月23日（土）
 講 師 松田和也
 聴講者数 86人
 会 場 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

・展示解説

(ア)日 時 令和元年10月6日（日）

参加者数 30人

(イ)日 時 令和元年10月14日（月）

参加者数 31人

(ウ)日 時 令和元年11月4日（月）

参加者数 32人

- (ウ)日 時 令和元年 11 月 9 日 (土)
 参加者数 16 人
 ・表千家只楽会呈茶席
 日 時 令和元年 11 月 17 日 (日)
 参加者数 60 人
 会場 下関市立歴史博物館
 共 催 只楽会・国際ソロプチミスト東下関

2. 調査研究・普及活動

- ・研究紀要の製作
- ・出前講座 6 件
- ・歴史講座&展示解説の実施
 - (ア)「坂本龍馬の手紙—東奔西走の記録を読む」
 日 時 令和元年 6 月 15 日 (土)
 講 師 田中洋一
 聴講者数 46 人
 - (イ)「紀行文にみる下関—旅人の目に映った下関」
 日 時 令和元年 9 月 21 日 (土)
 講 師 田中洋一
 聴講者数 36 人
 - (ウ)「毛利家の手紙—長文に込められた思い」
 日 時 令和元年 12 月 21 日 (土)
 講 師 田中洋一
 聴講者数 60 人
- ・歴史講座の実施
 - (ア)「串崎城のヒミツ—壊された城の物語」
 日 時 令和 2 年 1 月 26 日 (土)
 講 師 田中洋一
 聴講者数 94 人
 - (イ)「キリスト教宣教師がみた下関—黒田官兵衛の布教のススメ」
 日 時 令和 2 年 2 月 23 日 (土)
 講 師 田中洋一
 聴講者数 73 人

※ 3 月に開催予定だった歴史講座は新型コロナウイルス感染症対策のため延期

- ・城下町散策イベント
 特別展「関ヶ原—天下分け目と毛利氏の戦い」に伴うもので、関ヶ原の合戦に毛利軍として参加した長府藩初代藩主毛利秀元ゆかりの地を巡るもの。地元でもあまり知られていない毛利秀元の人物像を紹介し、広く市民等に周知する一貫として実施した。

担当学芸員 田中洋一

- (ア)日 時 令和元年 11 月 2 日 (土)
 参加者数 10 人
 (イ)日 時 令和元年 11 月 16 日 (月)
 参加者数 10 人
 (ウ)日 時 令和元年 11 月 23 日 (土)
 参加者数 10 人
 (エ)日 時 令和元年 11 月 30 日 (土)
 参加者数 10 人

3. 収集・保存

(1) 資料収集(寄贈・寄託・購入)

①寄贈・寄託資料

No	名 称	数 量	備 考
1	山本家資料	172 件 195 点	寄 贈
2	鉄錆地六十二間筋兜 鉄横矧二枚胴具足	1 領	寄 贈
3	長府藩士梶山家資料	6 件 27 点	寄 贈
4	松尾家文書	79 通	寄 贈
5	一外交官の見た明治維新	1 冊	寄 贈
6	フランス士官の下関海戦記	1 冊	寄 贈
7	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース	4 冊	寄 贈
8	山陽鉄道案内	1 冊	寄 贈
9	小早川家資料	16 件 94 点	寄 贈
10	棕梨家資料	15 点	寄 贈
11	篠崎小竹書状	1 通	寄 贈
12	絵はがき 源平古戦場 壇ノ浦	1 枚	寄 贈
13	下関名勝絵はがき	3 枚	寄 贈
14	貴船神社由来記	1 冊	寄 贈
15	山崎コレクション	4 件 6 点	寄 託
16	木村家資料	3 件	寄 託
17	線路一覧略図	2 冊	寄 託

②購入資料

長府毛利家遺品

No	名 称	数 量
1	毛利元就和歌	1 幅
2	毛利元就筆 徒然草歌	1 卷
3	毛利元就筆 黄點歌勅撰抄	1 冊
4	毛利元就筆 連歌作法	1 冊
5	毛利元就外和歌 毛利元就・毛利宗瑞・吉川元春・小早川隆景	1 幅
6	照高院門跡道澄筆 毛利元就和歌 天正 2 年沾洗中旬	1 冊
7	元就公御消息	20 通 (1 卷)
8	元就公御手簡	21 通 (1 卷)
9	隆元公御手書	7 通 (1 卷)
10	元春公御手書	4 通 (1 卷)
11	毛利甲斐守秀元譜略 毛利甲斐守綱元筆 貞享元年8月27日	1 卷
12	宗源宣旨 天保 5 年	4 通 (1 卷)

(2) 収集審査会

令和 2 年 3 月 9 日 (月) 13 時 00 ～ 実施

(1) 資料収集のうち①寄贈・寄託資料収集の可否について審査を実施した。

審査員 井土 誠 (元下関市立美術館 館長)

小山良昌 (毛利博物館 顧問)

利岡俊昭 (元梅光学院大学文学部 教授)

渡辺一雄 (元梅光学院大学文学部 教授)

(3) くん蒸業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店（福岡県福岡市）

令和2年3月22日～23日 下関市立歴史博物館館内くん蒸を実施

令和2年3月22日～26日 旧長府博物館館内くん蒸を実施

(4) 資料の利用

①特別観覧

※下関市立歴史博物館及びその分館である日清講和記念館に収蔵する資料について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等を行うこと。

98件

〈内訳〉

内容	熟覧	模写	模造	撮 影		複製	総計
				カラー	モノクローム		
件数				学術研究を目的とするもの 24件	学術研究を目的とするもの 1件		
				出版等収益を伴うもの 43件	出版等収益を伴うもの 3件		
				特別観覧料を免除したもの 27件	特別観覧料を免除したもの 0件		
				計 94件	計 4件		
	0件	0件	0件			0件	98件

②資料貸付

No	展 覧 会 名 称	貸 付 先	数 量
1	南宮山攻防戦！垂井と関ヶ原合戦	タルイピアセンター歴史民俗資料館	1件1点
2	龍馬をめぐる女たち ～心許したものとの語らい～	高知県立坂本龍馬記念館	2件2点
3	祭礼百態—香川・瀬戸内の「風流」	香川県立ミュージアム	1件1点
4	将軍家茂と皇女和宮 —行列が彩った二人の幕末—	福井市立郷土歴史博物館	5件5点
5	覗いてみたい！となりの茶の湯	北九州市立小倉城庭園	16件18点
6	朝鮮通信使—江戸時代の国際交流	松濤園御馳走一番館	3件3点
7	維新十傑—創造・行動・志	高知県立坂本龍馬記念館	5件5点

4. その他

(1) 博学連携

・学校行事による児童・生徒の来館

小 学 校 2校 111名

中 学 校 12校 523名

高等学校 6校 107名

大 学 3校 65名

・小・中・高の社会科研究部会の研修講師

・出前講座等により、学芸員が学校で講義を実施

・博物館実習生の受け入れ 4名

(2) 学術図書の寄附

・学術専門書など (利岡俊昭氏夫妻)

※一部を「利岡文庫」としてガイダンス交流室に配架。

(3) 歴史博物館観覧料の見直し

- ・料金の見直しに係るもの

展示業務に充当する一般財源の縮減および企画展示の維持と充実を図るため、企画展示の観覧料を見直した。

見直し時期：令和元年10月1日

内容 大人100円(80円)→210円(160円)

大学生50円(40円)→100円(80円)

※()内は20人以上の団体

- ・消費税転嫁に伴うもの

令和元年10月1日より消費税率が変更されたのに伴い、「平成31年度消費税転嫁原則」に基づき算定し、常設展示観覧料及び特別観覧料を変更した。

見直し時期：令和元年10月1日

新 旧 対 照 表

別表第1（第4条関係）

旧

区 分		1人1回につき	
		一般	大学生等
常設展示 観覧料	個人	200円	略
	略		
企画展示 観覧料	個人	100円	50円
	団体（20人以上）	80円	40円
略			

備考

1 略

2「企画展示観覧料」とは、博物館の収蔵資料及び近隣に所在する資料で構成されるもので、臨時に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。

3～5 略

別表第2（第5条関係）

新

区 分		1人1回につき	
		一般	大学生等
常設展示 観覧料	個人	210円	略
	略		
企画展示 観覧料	個人	210円	100円
	団体（20人以上）	160円	80円
略			

備考

1 略

2「企画展示観覧料」とは、本館の収蔵する資料及び近隣に所在する資料で構成されるもので、臨時に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。

3～5 略

別表第2（第5条関係）

区 分			特別観覧料 (1件につき)	
熱覧			1日	200 円
模写、模造等			1日	1,030 円
撮影料	モノク ローム	学術研究を目的とする場合	1回	150 円
		出版等収益を伴う場合	1回	1,550 円
	カラー	学術研究を目的とする場合	1回	300 円
		出版等収益を伴う場合	1回	3,120 円

備考

1 略

2「撮影等」とは、資料を撮影すること、又は博物館に保管されている資料が撮影されたフィルム等を借り受けることをいう。

3「1回」とは、資料の撮影を開始してから終了するまで又はフィルム等を借り受けてから返却するまでをいう。

別表第2（第5条関係）

区 分			特別観覧料 (1件につき)	
熱覧			1日	210 円
模写、模造等			1日	1,040 円
撮影料	モノク ローム	学術研究を目的とする場合	1回	150 円
		出版等収益を伴う場合	1回	1,570 円
	カラー	学術研究を目的とする場合	1回	310 円
		出版等収益を伴う場合	1回	3,170 円
複製			1回	220,000 円

備考

1 略

2「撮影等」とは、博物館資料を撮影すること、又は博物館資料が撮影されたフィルム等を借り受けることをいう。

削除

(4) 高齢者減免基準の見直し

文化施設の利用者における受益と負担の観点から、観覧料の減免基準を見直し、一般財源の縮小を図った。

見直し時期：令和元年10月1日

内容 年齢要件による減免対象を市内居住者および北九州市内居住者のみとし、それ以外の者については減免を廃止した。

該当者	改正前・ 改正後	減 免 額			減免内容
		常設展示	企画展示	特別展示	
70歳以上の 市内居住者	改正前	全額	全額	全額	縮小
	改正後	半額	半額	半額	
65歳以上の 市内居住者	改正前	全額	なし	なし	縮小 拡充
	改正後	半額	半額	半額	
65歳以上の 北九州市居住者	改正前	全額	なし	なし	縮小
	改正後	半額	なし	なし	
70歳以上の 上記以外の者	改正前	全額	全額	全額	廃止
	改正後	なし	なし	なし	

IV. 日清講和記念館

1. 施設概要

(1) 沿革

日清講和記念館は、明治28年(1895)春に下関で行われた日清講和会議と、講和条約(下関条約)の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和12年(1937)6月、講和会議の舞台である料亭春帆楼の隣接地に開館。浜離宮で使用された椅子や講和会議で用いられた調度品などを展示しており、館内中央には講和会議の部屋を再現している。

戦災を免れた記念館は、平成23年1月には、国の登録有形文化財に指定され、平成28年(2016)4月1日には、下関市立歴史博物館の分館となった。

(2) 建物・施設の概要

敷地面積	458.42 m ²	建築面積	138.34 m ²
構造	平屋建て 鉄筋コンクリート造	延床面積	190.66 m ²

2. 平成30年度事業概要

(1) 管理運営

・入館者数

月	観覧者数(人)	月	観覧者数(人)
4月	6,230	10月	6,679
5月	7,481	11月	6,348
6月	6,857	12月	5,904
7月	6,583	1月	5,216
8月	6,926	2月	5,316
9月	6,802	3月	5,527
計	75,869		



日清講和記念館外観

(2) 事業報告

・くん蒸業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店（福岡県福岡市）
平成31年3月21日～22日 くん蒸を実施

3. 令和元年度(平成31年度)事業概要

(1) 管理運営

月	観覧者数(人)	月	観覧者数(人)
4月	6,718	10月	7,054
5月	6,711	11月	5,741
6月	5,879	12月	5,978
7月	6,802	1月	5,280
8月	6,937	2月	3,755
9月	7,112	3月	53 ※
計	68,020		

※ 3月2日～3月31日は、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館

(2) 事業報告

・くん蒸業務

委託先：三共アメニテクス株式会社 福岡支店（福岡県福岡市）
令和2年3月26日～27日 くん蒸を実施

V．条例・施行詳細

○下関市立歴史博物館の設置等に関する条例

平成28年3月24日

条例第39号

下関市立博物館の設置等に関する条例（平成17年条例第121号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 市民の教育と文化の向上に資するため、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、本市に次のとおり博物館を設置する。

名 称	位 置
下関市立歴史博物館	下関市長府川端二丁目2番27号

2 前項の博物館（以下「本館」という。）に次のとおり分館を置く。

名 称	位 置
日清講和記念館	下関市阿弥陀寺町4番3号

（休館日）

第2条 本館の休館日は、次のとおりとする。ただし、下関市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要であると認めるときは、休館日以外の日に休館し、又は休館日に開館することができる。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の最初の休日でない日）

(2) 12月28日から翌年1月4日までの日

2 委員会は、必要があると認めるときは、分館を臨時に休館することができる。

（開館時間等）

第3条 本館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 分館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

3 本館の駐車場（以下「駐車場」という。）に自動車を入場させ、又は駐車場から出場させることができる時間は、午前9時から午後5時30分までとする。

4 委員会は、必要があると認めるときは、第1項及び第2項の開館時間を変更することができる。

（観覧料）

第4条 本館で展示する資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

（特別観覧）

第5条 本館及び分館（以下「博物館」と総称する。）に収蔵する資料（以下「博物館資料」という。）について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等をしようとする者は、委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

（駐車料金）

第6条 駐車場に自動車を駐車した者は、駐車場から自動車を出場させるときに、自動車を駐車場に入場させた時から出場させる時までの時間（以下「駐車時間」という。）に係る別表第3に定める駐車場の使用料（以下「駐車料金」という。）を納付しなければならない。

（観覧料等の減免）

第7条 市長は、公用又は公益上必要があると認めるときその他市長が特別の理由があると認めるときは、第4条の観覧料、第5条第2項の特別観覧料又は駐車料金（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第8条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第9条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第4条の規定による観覧を拒み、又は第5条第1項の規定による許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。

(1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(2) 博物館資料、博物館の施設等を損傷し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) この条例若しくはこの条例に基づく規則に違反し、又は違反するおそれがあるとき。

(4) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

（寄託）

第10条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄託しようとする者は、委員会の承諾を受けなければならない。

（賠償の義務）

第11条 博物館の入館者は、博物館の施設又は博物館資料若しくはは器材器具を滅失し、又は損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償金額の全部又は一部を免除することができる。

（協議会の設置）

第12条 法第20条第1項の規定により、博物館に下関市立歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから委員会が委嘱する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。

6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

（委任）

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第2条第1項、第3条第1項及び第3項、第4条、第6条、第7条中観覧料及び駐車料金の減免に関する部分、第8条中観覧料及び駐車料金に関する部分並びに別表第1及び別表第3の規定については、規則で定める日から施行する。

（平成28年規則第109号で平成28年11月18日から施行）

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の下関市立博物館の設置等に関する条例第5条第1項の規定によりされている許可又は許可の申請は、この条例による改正後の下関市立歴史博物館の設置等に関する条例第5条第1項の規定によりされた許可又は許可の申請とみなす。

別表第1（第4条関係）

区 分		1人1回につき	
		一般	大学生等
常設展示観覧料	個人	210 円	100 円
	団体（20人以上）	160 円	80 円
企画展示観覧料	個人	210 円	100 円
	団体（20人以上）	160 円	80 円
特別展示観覧料		2,000 円以内で市長が定める額	

備考

- 「常設展示観覧料」とは、平常展示する収蔵資料の観覧料をいう。
- 「企画展示観覧料」とは、博物館の収蔵資料及び近隣に所在する資料で構成されるもので、臨時に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。
- 「特別展示観覧料」とは、外国又は国内の遠隔地に所在する資料を含むもので、特別に企画し、及び開催する展覧会等の観覧料をいう。
- 「一般」とは、19歳以上の者（高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校及び特別支援学校の生徒及び学生を除く。）をいう。
- 「大学生等」とは、19歳以上の者で高等専門学校及び大学の学生並びにこれに準ずるものをいう。

別表第2（第5条関係）

区 分			特別観覧料 (1 件につき)	
熟覧			1 日	210 円
模写、模造等			1 日	1,040 円
撮影等	モノクローム	学術研究を目的とする場合	1 回	150 円
		出版等収益を伴う場合	1 回	1,570 円
	カラー	学術研究を目的とする場合	1 回	310 円
		出版等収益を伴う場合	1 回	3,170 円
複 製			1 回	220,000 円

備考

- 「1日」とは、当日において、博物館に入館してから退館するまでをいう。
- 「撮影等」とは、資料を撮影すること、又は博物館に保管されている資料が撮影されたフィルム等を借り受けることをいう。
- 「1回」とは、資料の撮影を開始してから終了するまで又はフィルム等を借り受けてから返却するまでをいう。

別表第3（第6条関係）

時 間 帯	駐 車 料 金
午前9時から 午後5時30分までの間	1台につき駐車場に入場した時から最初の2時間まで1時間ごとに 100円 1台につき駐車場に入場した時から最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに 100円

備考

- 午前9時から午後5時30分までの間における駐車料金の限度額は、1日1回の駐車につき1,000円とする。
 - 午後5時30分までに駐車場から自動車を出場させていないために1回の駐車時間が2日以上にわたる②きの駐車料金は、次に掲げる額を合計した額とする。
- (1) 午前9時から午後5時30分までの間の駐車料金を1日ごとに算定した額
- (2) 午後5時30分を経過するごとに1,000円

○下関市立歴史博物館の設置等に関する条例

平成28年3月24日

教育委員会規則第9号

下関市立博物館の設置等に関する条例施行規則の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、下関市立歴史博物館の設置等に関する条例（平成28年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(特別観覧)

第2条 条例第5条第1項の規定により、本館及び分館（以下「博物館」と総称する。）に収蔵する資料（以下「博物館資料」という。）について、学術研究等のために熟覧、模写、模造、撮影、複製等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、下関市立歴史博物館特別観覧許可申請書（様式第1号）を下関市教育委員会（以下「委員会」という。）に提出しなければならない。

2 委員会は、前項の特別観覧を許可したときは、下関市立歴史博物館特別観覧許可書（様式第2号）を交付するものとする。

3 特別観覧の許可を受けた者は、前項の許可書を携帯し、職員の指示に従わなければならない。

(利用者の心得)

第3条 博物館の利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、構内施設、博物館資料その他の備品等を損傷し、汚損し、又それらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他の利用者の迷惑になる行為をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で喫煙し、飲食し、火気を使用しないこと。
- (4) 危険物及びペット類を持ち込まないこと。
- (5) 許可なく構内で物品を販売し、又は展示しないこと。
- (6) 許可なく博物館資料を撮影又は模写しないこと。
- (7) 博物館の設備、備品等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。
- (8) 所定の場所以外に出入りしないこと。
- (9) 前各号に定めるもののほか、管理上の必要から職員の行う指示に従うこと。

(寄託の申請)

第4条 条例第10条の規定に基づき、博物館に資料を寄託しようとする者は、寄託申請書（様式第3号）を委員会に提出しなければならない。

(受託証の交付)

2 委員会は、前項の特別観覧を許可したときは、下関市立歴史博物館特別観覧許可書（様式第2号）を交付するものとする。

3 特別観覧の許可を受けた者は、前項の許可書を携帯し、職員の指示に従わなければならない。

(利用者の心得)

第3条 博物館の利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

第5条 委員会は、前条の寄託申請書の提出があった場合において、適当と認めるときは、当該申請者に対し受託証（様式第4号）を交付するものとする。

(免責)

第6条 受託品が災害その他の不可抗力によって滅失し、又は損傷した場合には、委員会はその責めを負わないものとする。

(会長及び副会長)

第7条 下関市立歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を掌理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

(協議会の会議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(協議会の庶務)

第9条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

※紙幅の都合により様式第1～4号は省略

ご利用案内

- 開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日／月曜日(祝日を除く)および年末年始
- 観覧料／【常設展示】一般210円(160円)／大学生100円(80円) 【企画展示】一般210円(160円)／大学生100円(80円)
※()内は20名以上の団体料金 ※展示解説が必要な方は、あらかじめご連絡ください。
 ※18歳以下、障がい者の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。
 ※下関市在住65歳以上の方は常設展示・企画展示ともに100円、北九州市在住65歳以上の方は常設展示100円・企画展示210円(160円)
- 駐車料金／最初の2時間まで1時間ごとに100円、最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円
- 駐車台数／一般26台、身障者用2台
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
 また、当館の駐車場が満車の場合は、近くの有料駐車場をご利用ください。

交通のご案内

●公共交通機関

JR下関駅	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス	徒歩10分
	所要時間約25分	
JR新下関駅	バス停「城下町長府」を経由する「マリンランド」または「下関駅」行きバス	
	所要時間約20分	
JR長府駅	バス停「長府駅前」から下関方面行きバス	
	所要時間約10分	

●自動車

下関I.C	壇ノ浦方面に進み、国道9号線経由	
	所要時間約20分	
	長府方面に進み、国道2号線経由	
	所要時間約15分	



平成30～令和元年度(平成31年度) 下関市立歴史博物館年報 令和3年3月31日

編集・発行

下関市立歴史博物館
 〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号
 TEL (083) 241-1080 FAX (083) 245-3310
<http://www.shimohaku.jp>

製作

株式会社ナカハラプリンテックス
 〒750-0067 山口県下関市大和町 2-10-7
 TEL (083) 266-4601 FAX (083) 266-4609

